

**(仮称)青森市子ども総合プラン策定にかかる  
アンケート調査結果報告書  
＜② 小学生の保護者＞**

**令和6年3月  
福祉部 子育て支援課**

# 目 次

1 調査の概要	
調査の概要	1
調査区域表	2
調査票の回収結果	3
2 調査結果	
問2 放課後児童会等のサービス等の満足度について	
問2-1 現在利用しているサービス等について	4
問2-2 現在利用しているサービス等の満足度について	5
問2-3 サービス等を利用するにあたってのご要望について	7
問3 子育てについて	
問3-1 子育てに関して感じることにについて	9
問3-2 子育てに関して、悩んでいることや気になることにについて	10
問3-3 子育てに関する相談相手について	12
問3-4 日頃、子どもをみてくれる親族・知人について	14
問3-5 欲しいと思う子どもの人数について	14
問3-6 実際に予定している子どもの人数について	15
問3-7 予定している子どもの人数が、欲しいと思う子どもの人数よりも少ない理由について	16
問4 子育て環境について	
問4-1 青森市の子育て環境について	17
問4-2 青森市が子どもを生み育てやすい環境にあると思う理由について	18
問4-3 青森市が子どもを生み育てやすい環境にあると思わない理由について	19
問5 子育て支援サービスについて	
問5 青森市の子育て支援サービスの認知度について	21
問6 仕事と子育ての両立について	
問6-1 仕事と子育ての両立について、調和がとれていると思うか	
問6-2 どうしたら、仕事と子育ての調和がよりとれるようになると思うか。	22
問7 子どもの読書の関わり方について	
問7-1 1か月に子どもが読む本の冊数について	24
問7-2 1か月に親が読む本の冊数について	25
問7-3 子どもが本にふれる機会について	26
問8 「子どもの権利」について	
問8-1 「子どもの権利」の認知度について	
問8-2 「青森市子どもの権利相談センター」の認知度について	28
問8-3 青森市では、子どもの権利が大切にされていると思うか。	29
問9 「ヤングケアラー」について	
問9 「ヤングケアラー」の認知度について	30
問10 行政サービスへ期待することについて	
問10 子育てに関するご要望、ご意見について	31
3 自由記載欄の意見一覧	32

# 1 調査の概要

## 調査の概要

### 1 目的

新たな「(仮称)青森市子ども総合プラン(令和6年度～令和10年度)」の策定にあたり、急速な少子高齢化の進行、家庭及び地域を取り巻く環境の変化に対応した次世代育成支援対策を総合的かつ継続的に推進するために、市民ニーズを把握・分析し、新プランに反映させる。

### 2 調査票及び対象者数

調査対象	対象者数
①乳幼児の保護者	959件
②小学生の保護者	1,221件
③小学校4～6年生	674件
④中学校1～高校3年生	1,506件
⑤地域・子ども関連団体	301件
⑥認定こども園・幼稚園・保育所(園)・学校等	219件

※①と②、③と④はそれぞれ合計2,180人

### 3 調査期間

令和5年12月15日(金)～令和6年1月15日(月)

### 4 調査方法

調査対象に応じたアンケート調査票を送付し、下記の2通りの方法で回答。(無記名)

- ①同封した返信用封筒による郵送での回答
- ②WEBフォームからの回答

### 5 報告書の見方

- ① 比率は全てパーセント(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出したため、パーセントの合計が100にならない場合がある。
- ② 複数回答が可能な設問では、比率算出の基数は回答者数(票数)とし、その項目を選んだ人が全体からみて何%なのかという見方としているため、各項目の比率の合計が100%を超える場合がある。

調査区域表

番号	区域名	区域住所
1	東部地区	浪打、港町、茶屋町、栄町、合浦、花園、はまなす、けやき、造道、岡造道、東造道、八重田、小柳、古館、松森、佃、中佃、南佃、大字野内、大字久栗坂、大字浅虫、大字宮田、大字馬屋尻、大字三本木、大字滝沢、大字矢田、矢作、本泉、原別、大字原別、大字平新田、大字後菴、大字泉野、大字矢田前、大字八幡林、大字戸崎、大字諏訪沢、大字築木館、大字桑原、虹ヶ丘、浜館、自由ヶ丘、大字戸山、大字沢山、大字駒込、大字浜館、大字田屋敷、大字古館、赤坂、蛭沢、月見野
2	南部・中部地区	堤町、青柳、橋本、中央、本町、松原、勝田、桂木、緑、青葉、筒井、長島、古川、新町、安方、金沢、旭町、大字筒井、大字浦町、大字浜田、大字幸畑、大字田茂木野、東大野、浜田、桜川、奥野、幸畑、西大野、大字大野(字金沢、字鳴滝を除く)、大字細越、大字安田、大字横内、大字雲谷、大字四ツ石、大字大矢沢、大字野尻、大字合子沢、大字新町野、大字牛館、問屋町、卸町、第二問屋町、妙見、大字高田、大字大谷、大字小館、大字入内、大字野沢、大字荒川、大字八ツ役、大字金浜、大字大別内、大字野木、大字上野
3	西部・北部地区	柳川、北金沢、千富町、沖館、富田、新田、篠田、千刈、久須志、大字大野字金沢、大字大野字鳴滝、石江、西滝、里見、浪館前田、大字西滝、大字三内、大字浪館、大字岩渡、大字孫内、大字新城、大字岡町、大字石江、大字戸門、大字鶴ヶ坂、三好、大字油川、大字羽白、大字西田沢、大字飛鳥、大字瀬戸子、大字奥内、大字前田、大字清水、大字内真部、大字四戸橋、大字後潟、大字六枚橋、大字小橋、大字左堰
4	浪岡地区	大字浪岡、大字五本松、大字王余魚沢、大字女鹿沢、大字下十川、大字増館、大字樽沢、大字銀、大字郷山前、大字吉野田、大字下石川、大字杉沢、福田、大字高屋敷、大字徳才子、大字大釈迦、大字長沼、大字北中野、大字吉内、大字本郷、大字相沢、大字細野

調査票の回収結果

抽出児童 年齢	標本数			有効 回収数	回収率	性別構成				
	男	女	合計			男	女	どちらとも いえない	回答した くない	無回答
6歳	115	76	191	109	57.1%	68	40	0	1	0
7歳	107	98	205	112	54.6%	66	46	0	0	0
8歳	101	100	201	107	53.2%	54	52	0	1	0
9歳	108	96	204	115	56.4%	59	56	0	0	0
10歳	99	107	206	115	55.8%	52	61	0	2	0
11歳	113	101	214	126	58.9%	70	52	0	3	1
無回答	-	-	-	3	-	1	1	0	0	1
合計	643	578	1,221	687	56.3%	370	308	0	7	2

※児童の年齢は、令和5年4月1日時点の年齢である。

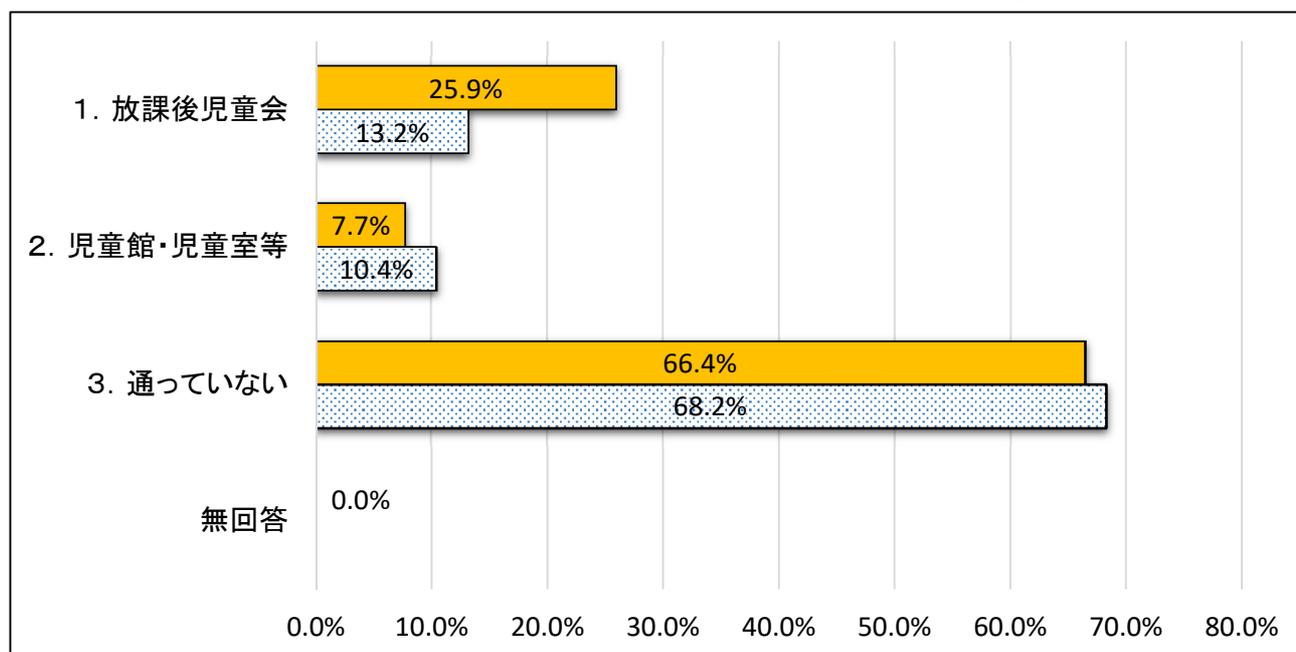
※標本数及び有効回収数の性別は、あくまで児童の性別であり、回答者(保護者)の性別ではない。

## 2 調査結果

### 問2 放課後児童会等のサービス等の満足度についてお伺いします。

問2-1 お子さんは、現在、放課後児童会、児童館・児童室等に通っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

<上段:令和5年度、下段:平成27年度>



※R5アンケート回答者687人(全員)に対する割合

#### 【H27調査時との比較】

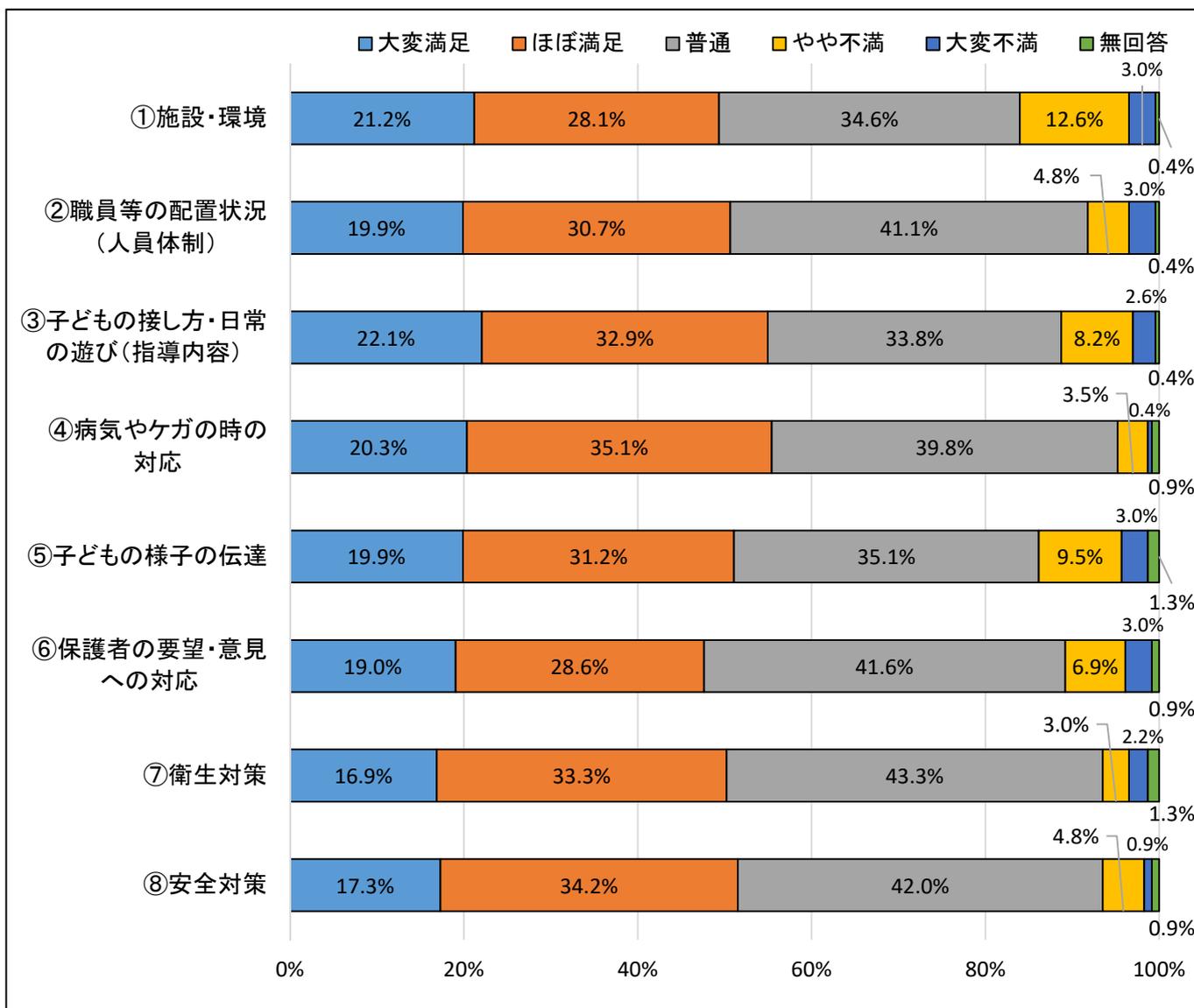
区分	R5	H27	R5-H27
1. 放課後児童会	25.9%	13.2%	12.7%
2. 児童館・児童室等	7.7%	10.4%	-2.7%
3. 通っていない	66.4%	68.2%	-1.8%
無回答	0.0%	-	-
計	100.0%	91.8%	-

※着色した数値は回答率が最も高い項目を表す。

◆「通っていない」(66.4%)と回答した人が最も多く、平成27年度(68.2%)から1.8ポイント減少している。以下、「放課後児童会」(25.9%) — 平成27年度(13.2%)から12.7ポイント増加 —、「児童館・児童室等」(7.7%) — 平成27年度(10.4%)から2.7ポイント減少している。

問2-2 現在、通っている放課後児童会、児童館・児童室等に対して、どのように感じていますか。それぞれの項目ごとに該当欄に○をつけてください。

◆放課後児童会、児童館・児童室等に通っていると回答した人231人(放課後児童会178人、児童館・児童室等53人)に対する割合



	1. 大変満足	2. ほぼ満足	3. 普通	4. やや不満	5. 大変不満	無回答	合計
令和5年度							
①施設・環境	21.2%	28.1%	34.6%	12.6%	3.0%	0.4%	100.0%
②職員等の配置状況(人員体制)	19.9%	30.7%	41.1%	4.8%	3.0%	0.4%	100.0%
③子どもの接し方・日常の遊び(指導内容)	22.1%	32.9%	33.8%	8.2%	2.6%	0.4%	100.0%
④病気やケガの時の対応	20.3%	35.1%	39.8%	3.5%	0.4%	0.9%	100.0%
⑤子どもの様子の伝達	19.9%	31.2%	35.1%	9.5%	3.0%	1.3%	100.0%
⑥保護者の要望・意見への対応	19.0%	28.6%	41.6%	6.9%	3.0%	0.9%	100.0%
⑦衛生対策	16.9%	33.3%	43.3%	3.0%	2.2%	1.3%	100.0%
⑧安全対策	17.3%	34.2%	42.0%	4.8%	0.9%	0.9%	100.0%

	1. 大変満足	2. ほぼ満足	3. 普通	4. やや不満	5. 大変不満	無回答	合計
平成27年度							
①施設・環境	15.6%	38.5%	30.4%	11.1%	3.0%	1.5%	100.0%
②職員等の配置状況(人員体制)	17.8%	35.6%	34.1%	10.4%	0.7%	1.5%	100.0%
③子どもの接し方・日常の遊び(指導内容)	20.0%	37.0%	35.6%	5.2%	0.7%	1.5%	100.0%
④病気やケガの時の対応	17.8%	32.6%	42.2%	3.0%	1.5%	3.0%	100.0%
⑤子どもの様子の伝達	14.1%	32.6%	40.0%	11.9%	0.0%	1.5%	100.0%
⑥保護者の要望・意見への対応	14.8%	33.3%	42.2%	5.9%	1.5%	2.2%	100.0%
⑦衛生対策	11.9%	29.6%	48.1%	5.9%	2.2%	2.2%	100.0%
⑧安全対策	11.1%	33.3%	43.7%	8.1%	1.5%	2.2%	100.0%

【満足、不満の2つに分類しH27調査時と比較】

区分	満足(大変満足、ほぼ満足)			不満(やや不満、大変不満)		
	R5(%)	H27(%)	R5-H27	R5(%)	H27(%)	R5-H27
①施設・環境	49.3%	<b>54.1%</b>	-4.8%	<b>15.6%</b>	<b>14.1%</b>	1.5%
②職員等の配置状況(人員体制)	50.6%	<b>53.4%</b>	-2.8%	7.8%	<b>11.1%</b>	-3.3%
③子どもの接し方・日常の遊び(指導内容)	<b>55.0%</b>	<b>57.0%</b>	-2.0%	<b>10.8%</b>	5.9%	4.9%
④病気やケガの時の対応	<b>55.4%</b>	50.4%	5.0%	3.9%	4.5%	-0.6%
⑤子どもの様子の伝達	51.1%	46.7%	4.4%	<b>12.5%</b>	<b>11.9%</b>	0.6%
⑥保護者の要望・意見への対応	47.6%	48.1%	-0.5%	9.9%	7.4%	2.5%
⑦衛生対策	50.2%	41.5%	8.7%	5.2%	8.1%	-2.9%
⑧安全対策	<b>51.5%</b>	44.4%	7.1%	5.7%	9.6%	-3.9%

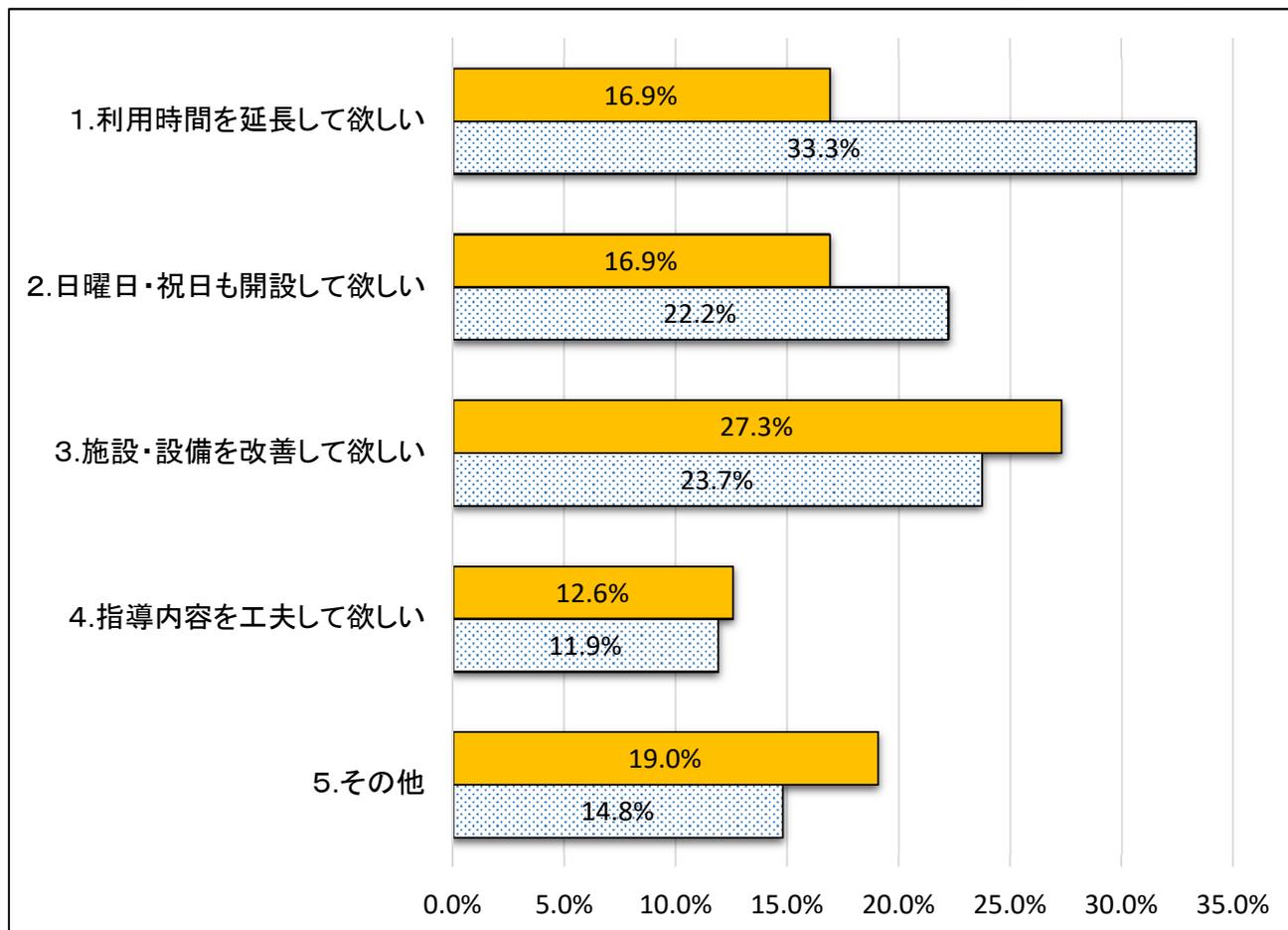
※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

- ◆「満足」「ほぼ満足」と回答した人が最も多かったのは、「病気やケガの時の対応」(55.4%)であり、平成27年度(50.4%)から5.0ポイント増加している。以下、「子どもの接し方・日常の遊び(指導内容)」(55.0%)ー平成27年度(57.0%)から2.0ポイント減少ー、「安全対策」(51.5%)ー平成27年度(44.4%)から7.1ポイント増加している。
- ◆「やや不満」「大変不満」と回答した人が最も多かったのは、「施設・環境」(15.6%)ー平成27年度(14.1%)から1.5ポイント増加ー、「子どもの様子の伝達」(12.5%)ー平成27年度(11.9%)から0.6ポイント増加ー、「子どもの接し方・日常の遊び(指導内容)」(10.8%)ー平成27年度(5.9%)から4.9ポイント増加している。

問2-3 現在、通っている放課後児童会、児童館・児童室等に対してご要望があれば、あてはまるものすべてに○をつけてください。

◆放課後児童会、児童館・児童室等に通っていると回答した人231人(放課後児童会178人、児童館・児童室等53人)に対する割合

<上段:令和5年度、下段:平成27年度>



【その他内訳】

- ・土曜日や長期休暇中の開始時間を早めてほしい(8)
- ・暑すぎるためエアコンをつけてほしい(6)
- ・職員の数を増やしてほしい(3)
- ・外遊びを増やしてほしい(3)
- ・職員の子ども・保護者に対する対応(態度、言葉遣い等)に気を付けてほしい(10)
- ・Wi-Fi使用できるようにしてほしい
- ・宿題の進行を見てほしい
- ・学習塾併設希望者に負担し利用できるような形にしてほしい
- ・宿題(勉強)が時間で管理されていて、できなければ宿題が終わるまでやらせてほしい
- ・宿題が多い時などは子どもの判断で勉強時間を増やしてほしい
- ・定期的に職員の配置を変えてほしい
- ・休みの連絡をマチコミのように連絡できると助かる
- ・小学校から放課後児童会の場所まで遠い
- ・学校との連携の強化
- ・無料または回数に応じた料金にしてほしい
- ・職員の待遇改善
- ・施設が古すぎて耐震等不安
- ・長期休暇中を給食にしてほしい(夏休み、冬休み)

- ・ 共働きの家庭だけではなく、希望する家庭が利用できることにしてほしい
- ・ 隣接する保育園と共用している遊具が利用不可になって困る
- ・ アプリなどで学童へきた、学童から帰ったなど把握できれば良い
- ・ 体育館週1でも使いたい
- ・ 学校とは違うので、子ども同士のトラブルがあった際どこまで要求しても良いものかわからない
- ・ 全員タブレット使用不可になったことが納得いかない
- ・ 冬季の除雪がなく車を止める場所がない、除雪が不定期の為送り迎えが大変不便
- ・ 長期休みの時に昼食を注文できるようにしてほしい
- ・ 狭い所に何十人も押し込められている
- ・ 子育て経験のある一定の研修を受けた無資格の方々を一部配置することも検討したかどうか

#### 【H27調査時との比較】

区分	R5	H27	H27-H22
1. 利用時間を延長して欲しい	16.9%	<b>33.3%</b>	-16.5%
2. 日曜日・祝日も開設して欲しい	16.9%	22.2%	-5.3%
3. 施設・設備を改善して欲しい	<b>27.3%</b>	23.7%	3.6%
4. 指導内容を工夫して欲しい	12.6%	11.9%	0.7%
5. その他	19.0%	14.8%	4.2%

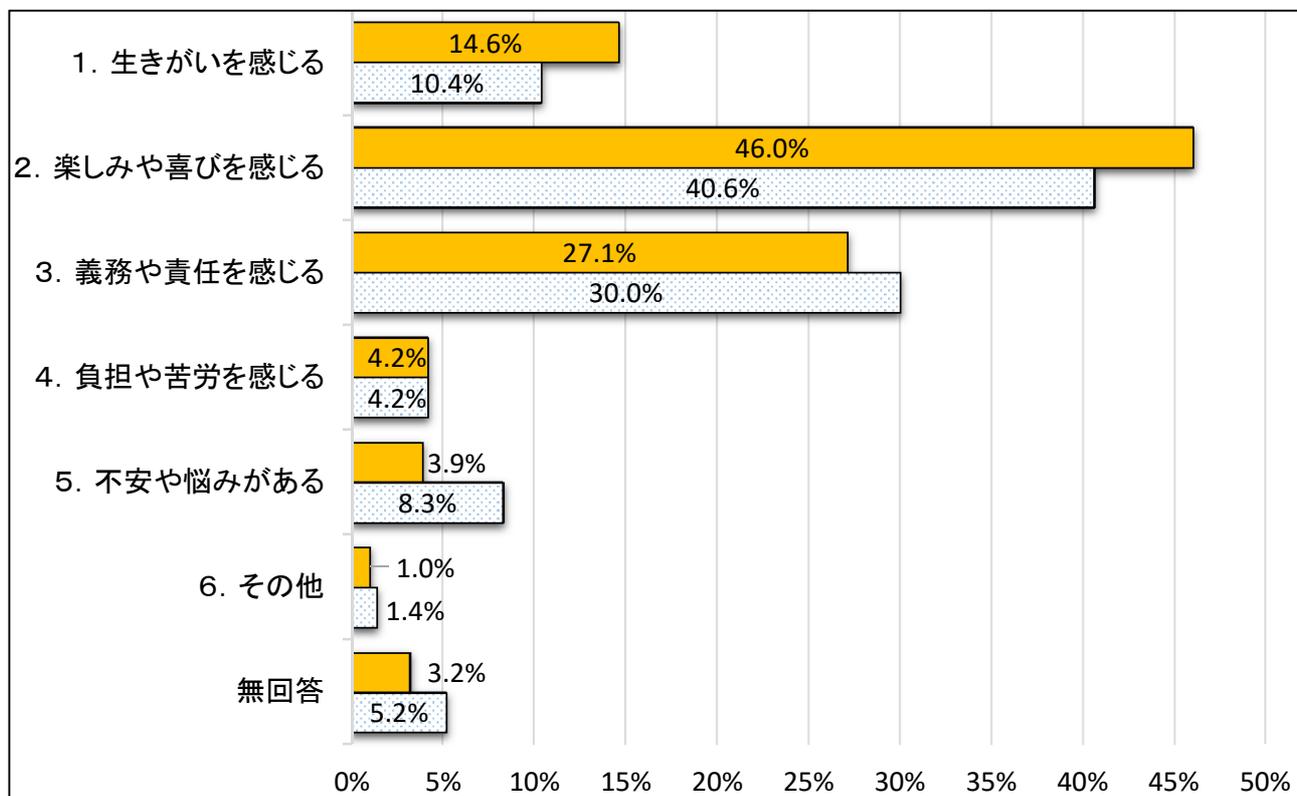
※着色した数値は回答率が最も高い項目を表す。

- ◆「施設・設備を改善して欲しい」(27.3%)と回答した人が最も多く、平成27年度(23.7%)から3.6ポイント増加している。以下「その他」(19.0%)－平成27年度(14.8%)から4.2ポイント増加－、「利用時間を延長して欲しい」(16.9%)－平成27年度(33.3%)から16.5ポイント減少－、「日曜日・祝日も開設して欲しい」(16.9%)－平成27年度(22.2%)から5.3ポイント減少している。

### 問3 子育てについてお伺いします。

問3-1 あなたはお子さんを育てることについて、どのように感じていますか。強く感じることに○をつけてください。

＜上段：令和5年度、下段：平成27年度＞



※R5アンケート回答者687人(全員)に対する割合

#### 【その他内訳】

- ・ その日による(2)
- ・ 何も感じない
- ・ 子ども4人分の養育費への不安
- ・ 選べない
- ・ 2を感じるのととも5も感じる
- ・ 1~5全て

#### 【H27調査時との比較】

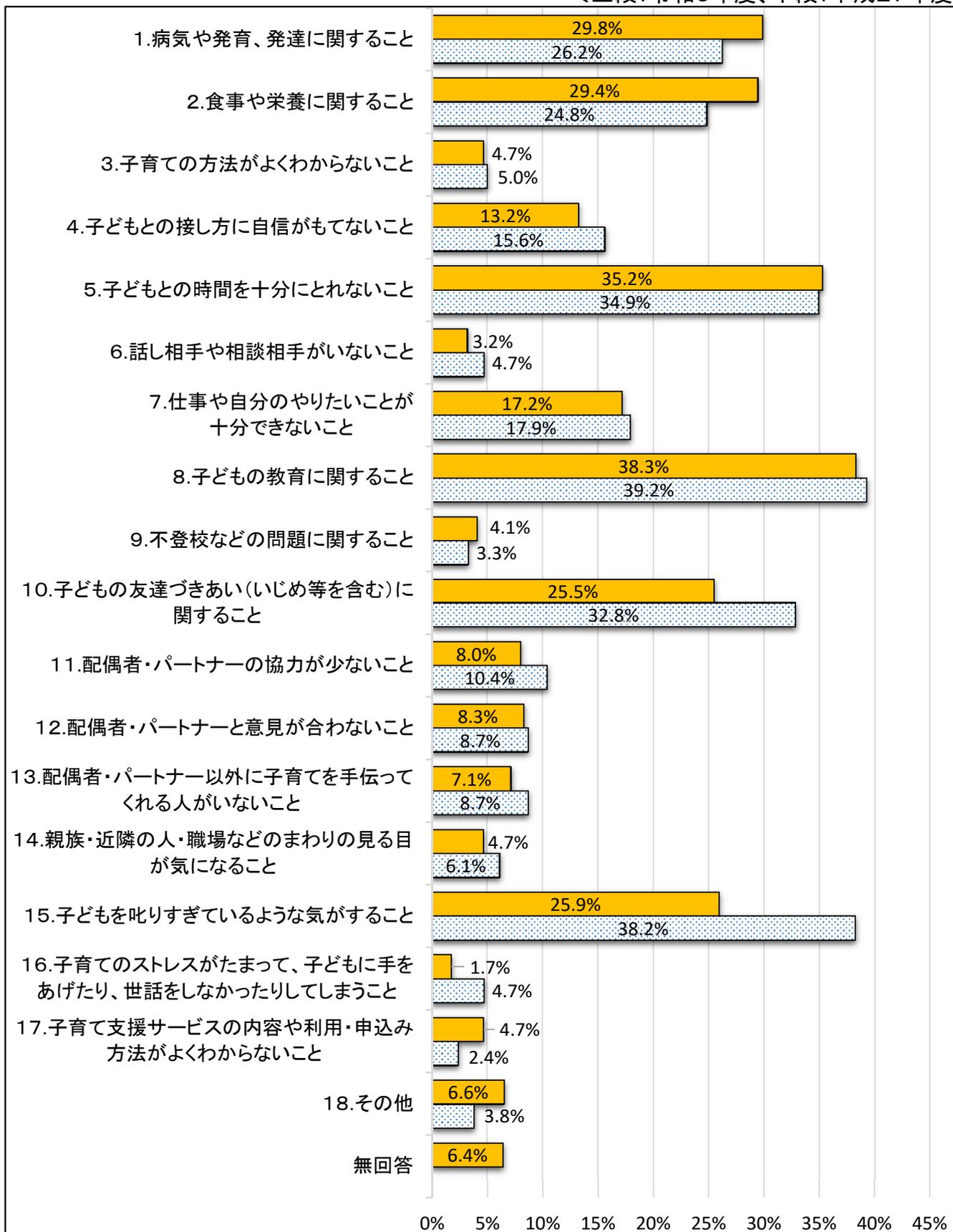
区分	R5	H27	R5-H27
1. 生きがいを感じる	14.6%	10.4%	4.2%
2. 楽しみや喜びを感じる	46.0%	40.6%	5.4%
3. 義務や責任を感じる	27.1%	30.0%	-2.9%
4. 負担や苦勞を感じる	4.2%	4.2%	0.0%
5. 不安や悩みがある	3.9%	8.3%	-4.4%
6. その他	1.0%	1.4%	-0.4%
無回答	3.2%	5.2%	-2.0%
計	100.0%	100.0%	-

※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

◆「楽しみや喜びを感じる」(46.0%)と回答した人が最も多く、平成27年度(40.6%)から5.4ポイント増加している。以下、「義務や責任を感じる」(27.1%)－平成27年度(30.0%)から2.9ポイント減少－、「生きがいを感じる」(14.6%)－平成27年度(10.4%)から4.2ポイント増加している。

問3-2 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

<上段:令和5年度、下段:平成27年度>



※R5アンケート回答者687人(全員)に対する割合

## 【その他内訳】

- ・ 学校の先生の対応(態度・言葉遣い等)について(6)
- ・ 経済的なこと(10)
- ・ 子どもの障がいについて(2)
- ・ 身体を動かしたりできる遊び場が少ない(2)
- ・ 自分と同じような立場の人が周りにいない
- ・ 習いごとやこれから先の部活動など
- ・ 学力
- ・ 毎日他の子が家に遊びに来ること、上に受験生もいるので困る
- ・ 環境の整わない場所での自信のなさのせいで子どもに悪い、無意識にいつも責められている気がする
- ・ 小学校の部活動クラブ化による指導者とのトラブル
- ・ 忙しい時と余裕のある時で、子どもへの接し方に差が出てしまう
- ・ 子どもがやりたい習いごとをさせたくても、自宅が遠く、自家用車で送迎できる曜日、時間が合わないところに限られる
- ・ 子ども達との時間を楽しんでいないと思う
- ・ 中学校、高校など
- ・ 疲れてしまうのでたまにでも休みたい
- ・ 学校生活やクラブチーム内の出来事を話してくれないこと
- ・ 風邪をひきやすくて仕事を休まなければならない日があること
- ・ 兄弟に障害のある子がいるので、当該人の心的なフォローが十分か不安
- ・ 放課後児童会の対応が悪く、通わせたくないが仕事があるため仕方なく通わせている
- ・ 悩みはない(6)

## 【H27調査時との比較】

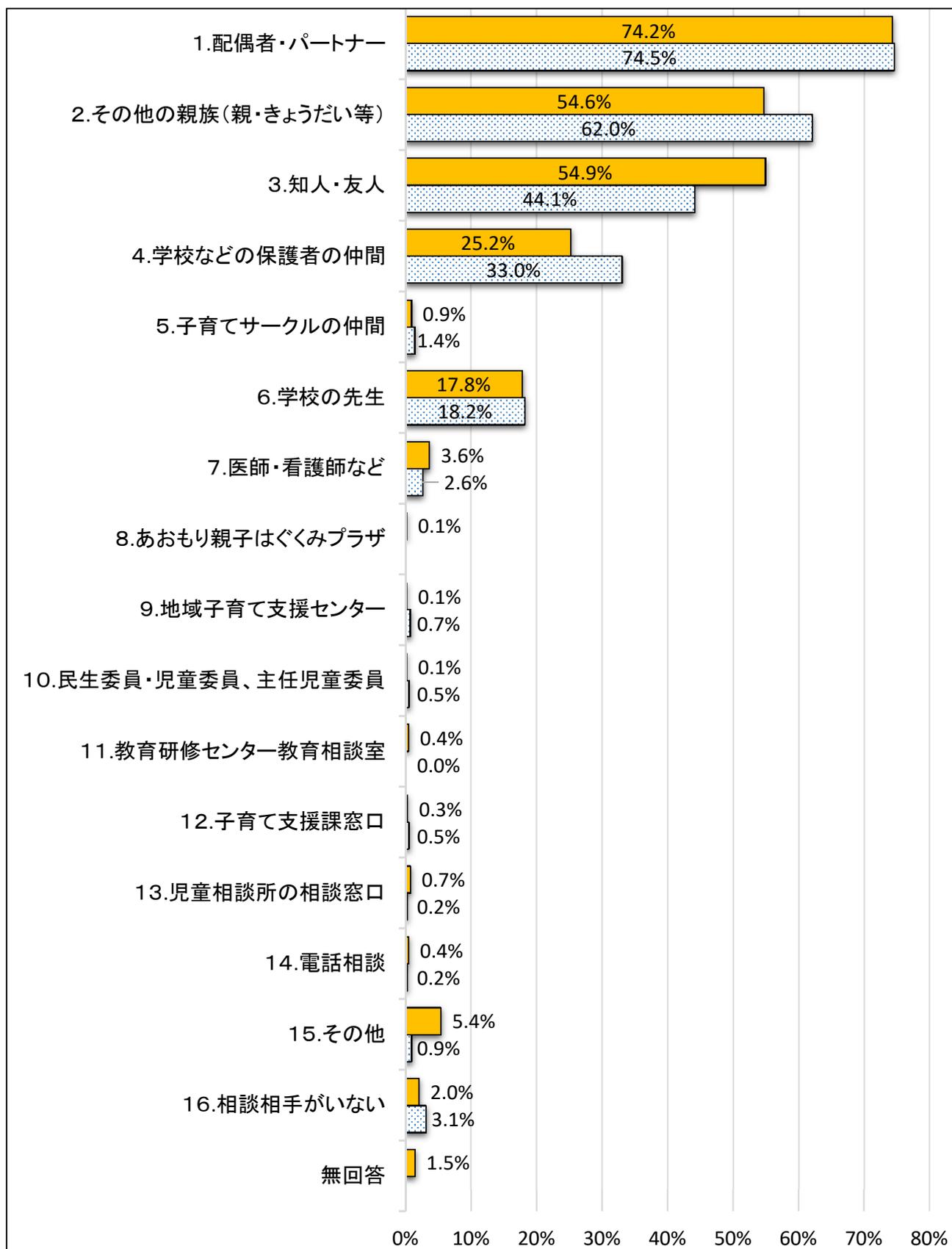
区分	R5	H27	R5-H27
1. 病気や発育、発達に関すること	29.8%	26.2%	3.6%
2. 食事や栄養に関すること	29.4%	24.8%	4.6%
3. 子育ての方法がよくわからないこと	4.7%	5.0%	-0.3%
4. 子どもとの接し方に自信がもてないこと	13.2%	15.6%	-2.4%
5. 子どもとの時間を十分にとれないこと	35.2%	34.9%	0.3%
6. 話し相手や相談相手がいないこと	3.2%	4.7%	-1.5%
7. 仕事や自分のやりたいことが十分できないこと	17.2%	17.9%	-0.7%
8. 子どもの教育に関すること	38.3%	39.2%	-0.9%
9. 不登校などの問題に関すること	4.1%	3.3%	0.8%
10. 子どもの友達つきあい(いじめ等を含む)に関すること	25.5%	32.8%	-7.3%
11. 配偶者・パートナーの協力が少ないこと	8.0%	10.4%	-2.4%
12. 配偶者・パートナーと意見が合わないこと	8.3%	8.7%	-0.4%
13. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	7.1%	8.7%	-1.6%
14. 親族・近隣の人・職場などのまわりの見目が気になること	4.7%	6.1%	-1.4%
15. 子どもを叱りすぎているような気がする	25.9%	38.2%	-12.3%
16. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと	1.7%	4.7%	-3.0%
17. 子育て支援サービスの内容や利用・申込み方法がよくわからないこと	4.7%	2.4%	2.3%
18. その他	6.6%	3.8%	2.8%
無回答	6.4%	-	-

※着色した数値は回答率の上位5項目を表す。

◆「子どもの教育に関すること」(38.3%)と回答した人が最も多く、平成27年度(39.2%)から0.9ポイント減少している。以下、「子どもとの時間を十分にとれないこと」(35.2%)－平成27年度(34.9%)から0.3ポイント増加－、「病気や発育、発達に関すること」(29.8%)－平成27年度(26.2%)から3.6ポイント増加－、「食事や栄養に関すること」(29.4%)－平成27年度(24.8%)から4.6ポイント増加－、「子どもを叱りすぎているような気がする」(25.9%)－平成27年度(38.2%)から12.3ポイント減少している。

問3-3 子育てに関する不安や悩みをどなたに相談していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

<上段:令和5年度、下段:平成27年度>



※R5アンケート回答者687人(全員)に対する割合

【その他内訳】

- ・ 職場の人(6)
- ・ 放課後等デイサービスや療育施設の職員(8)
- ・ 相談事業所(4)
- ・ スクールカウンセラー
- ・ 児童サービス相談支援
- ・ 知り合い
- ・ 子どもの権利相談センター
- ・ インターネット、児童書
- ・ 市の電話対応は最悪です
- ・ 相談するほどではないと思っている
- ・ 相談できるところが分からない
- ・ 相談する気になれない
- ・ 相談していない
- ・ 悩みはない(2)

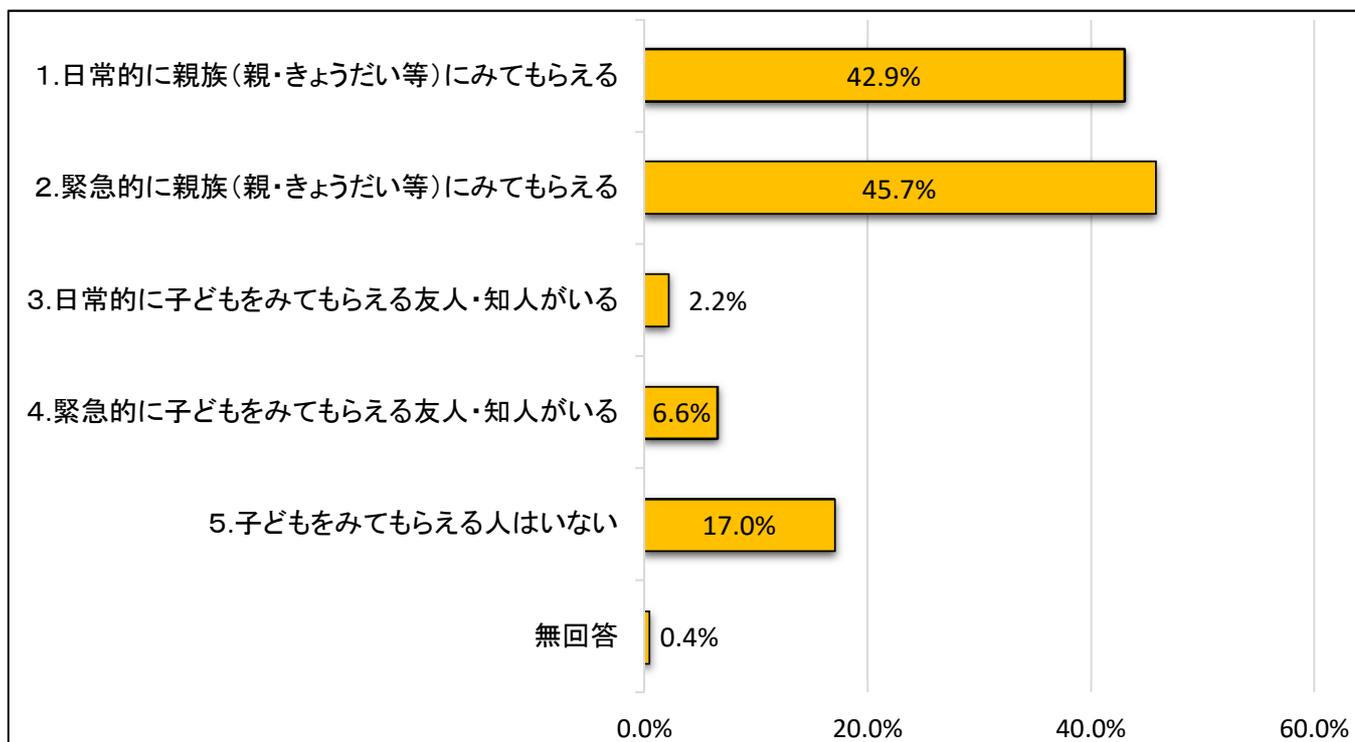
【H27調査時との比較】

区分	R5	H27	R5-H27
1. 配偶者・パートナー	74.2%	74.5%	-0.3%
2. その他の親族(親・きょうだい等)	54.6%	62.0%	-7.4%
3. 知人・友人	54.9%	44.1%	10.8%
4. 学校などの保護者の仲間	25.2%	33.0%	-7.8%
5. 子育てサークルの仲間	0.9%	1.4%	-0.5%
6. 学校の先生	17.8%	18.2%	-0.4%
7. 医師・看護師など	3.6%	2.6%	1.0%
8. あおもり親子はぐくみプラザ	0.1%	-	-
9. 地域子育て支援センター	0.1%	0.7%	-0.6%
10. 民生委員・児童委員、主任児童委員	0.1%	0.5%	-0.4%
11. 教育研修センター教育相談室	0.4%	0.0%	0.4%
12. 子育て支援課窓口	0.3%	0.5%	-0.2%
13. 児童相談所の相談窓口	0.7%	0.2%	0.5%
14. 電話相談	0.4%	0.2%	0.2%
15. その他	5.4%	0.9%	4.5%
16. 相談相手がいない	2.0%	3.1%	-1.1%
無回答	1.5%	-	-

※着色した数値は回答率の上位5項目を表す。

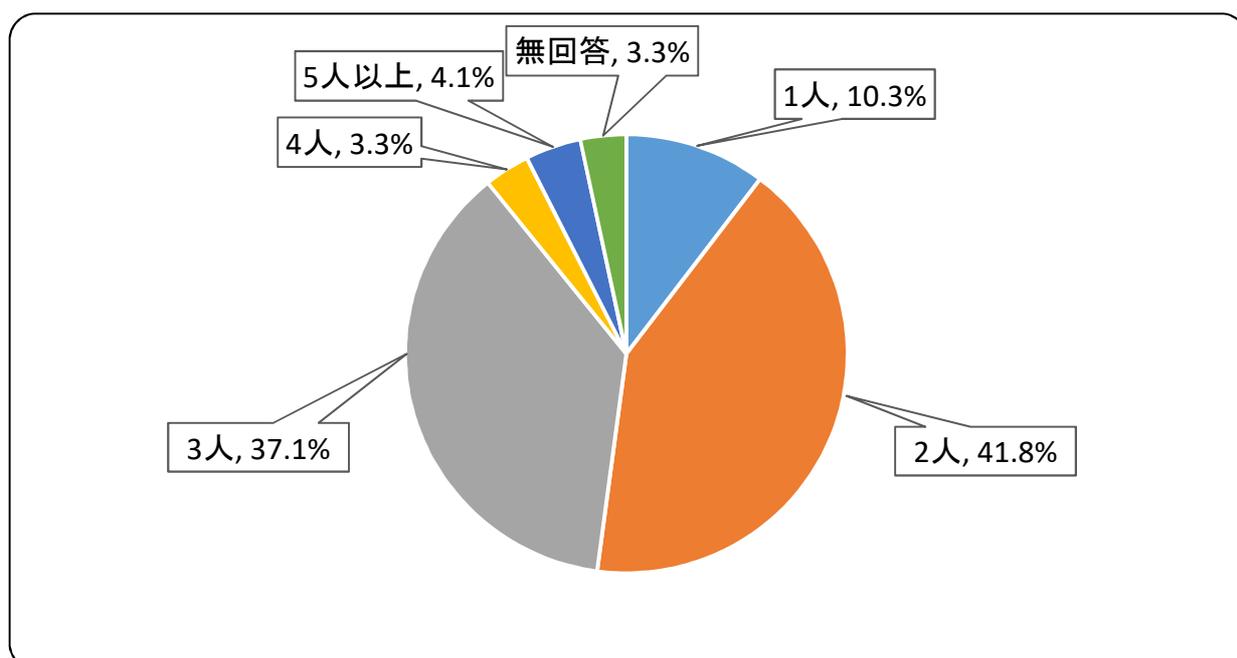
◆「配偶者・パートナー」(74.2%)と回答した人が最も多く、平成27年度(74.5%)から0.3ポイント減少している。以下、「知人・友人」(54.9%)ー平成27年度(44.1%)から10.8ポイント増加ー、「その他の親族(親・きょうだい等)」(54.6%)ー平成27年度(62.0%)から7.4ポイント減少ー、「学校などの保護者の仲間」(25.2%)ー平成27年度(33.0%)から7.8ポイント減少ー、「学校の先生」(17.8%)ー平成27年度(18.2%)から0.4ポイント減少している。

問3-4 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。



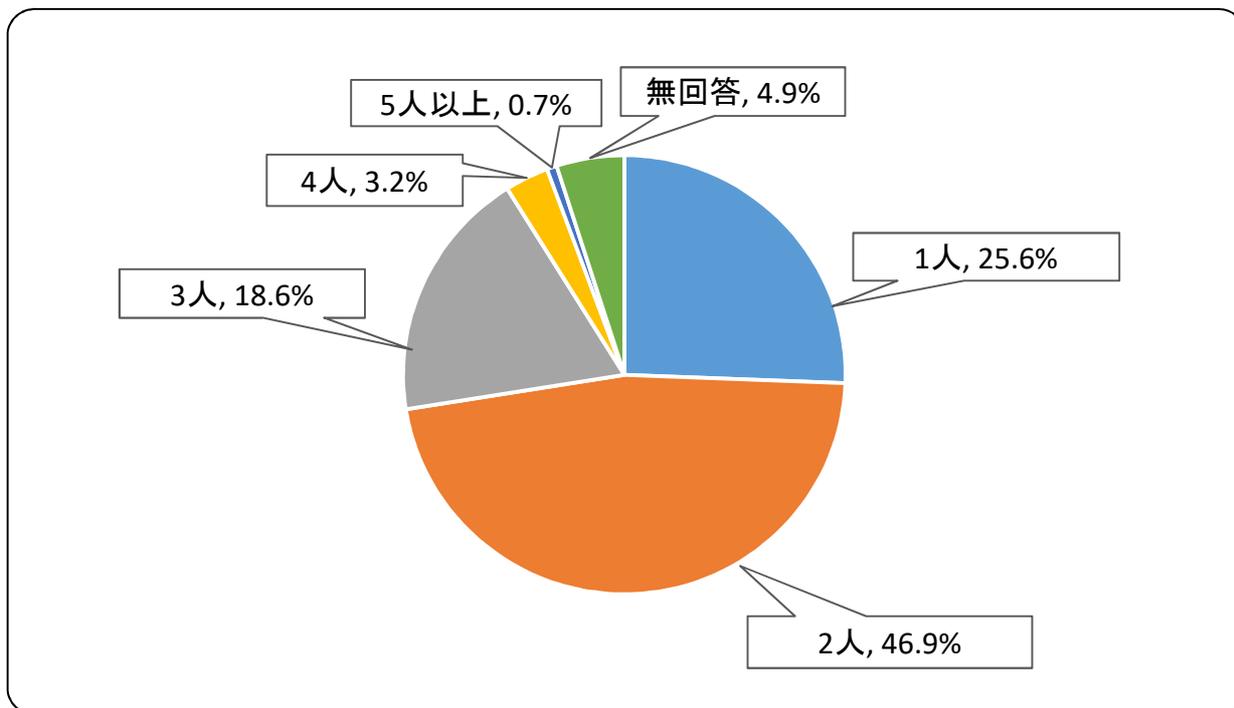
※アンケート回答者687人(全員)に対する割合

問3-5 あなたが欲しいと思うお子さんの人数をお答えください。あてはまるもの1つに○をつけてください。



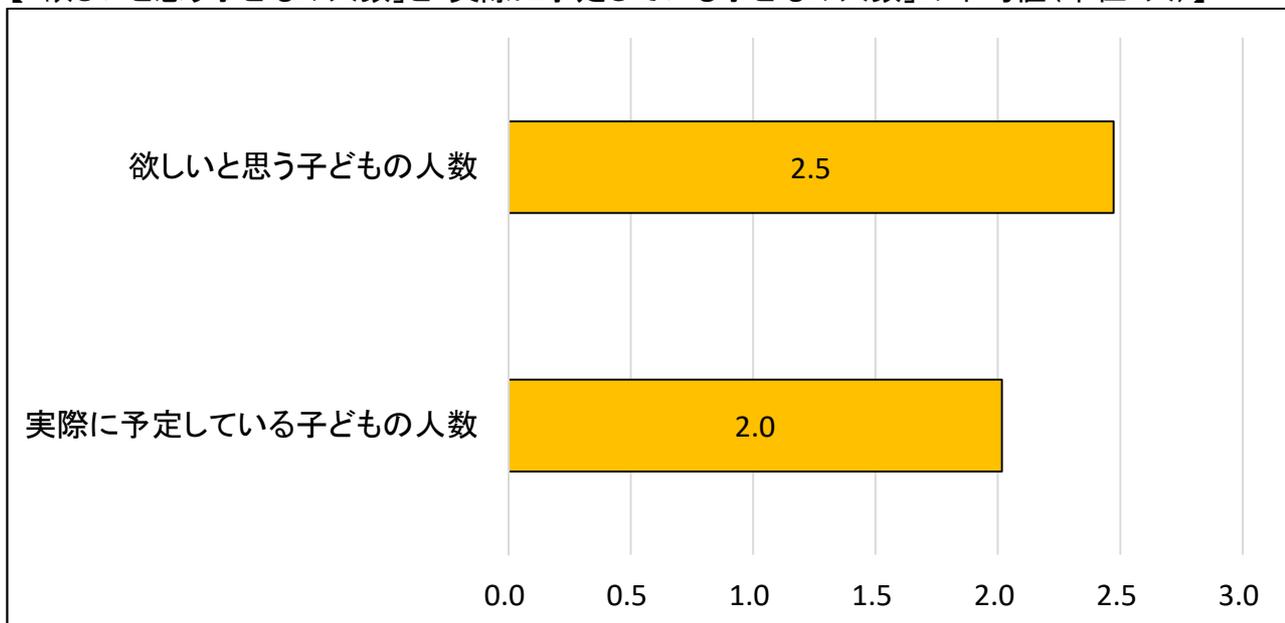
※アンケート回答者687人(全員)に対する割合

問3-6 実際に予定しているお子さんの人数をお答えください。あてはまるもの1つに○をつけてください。

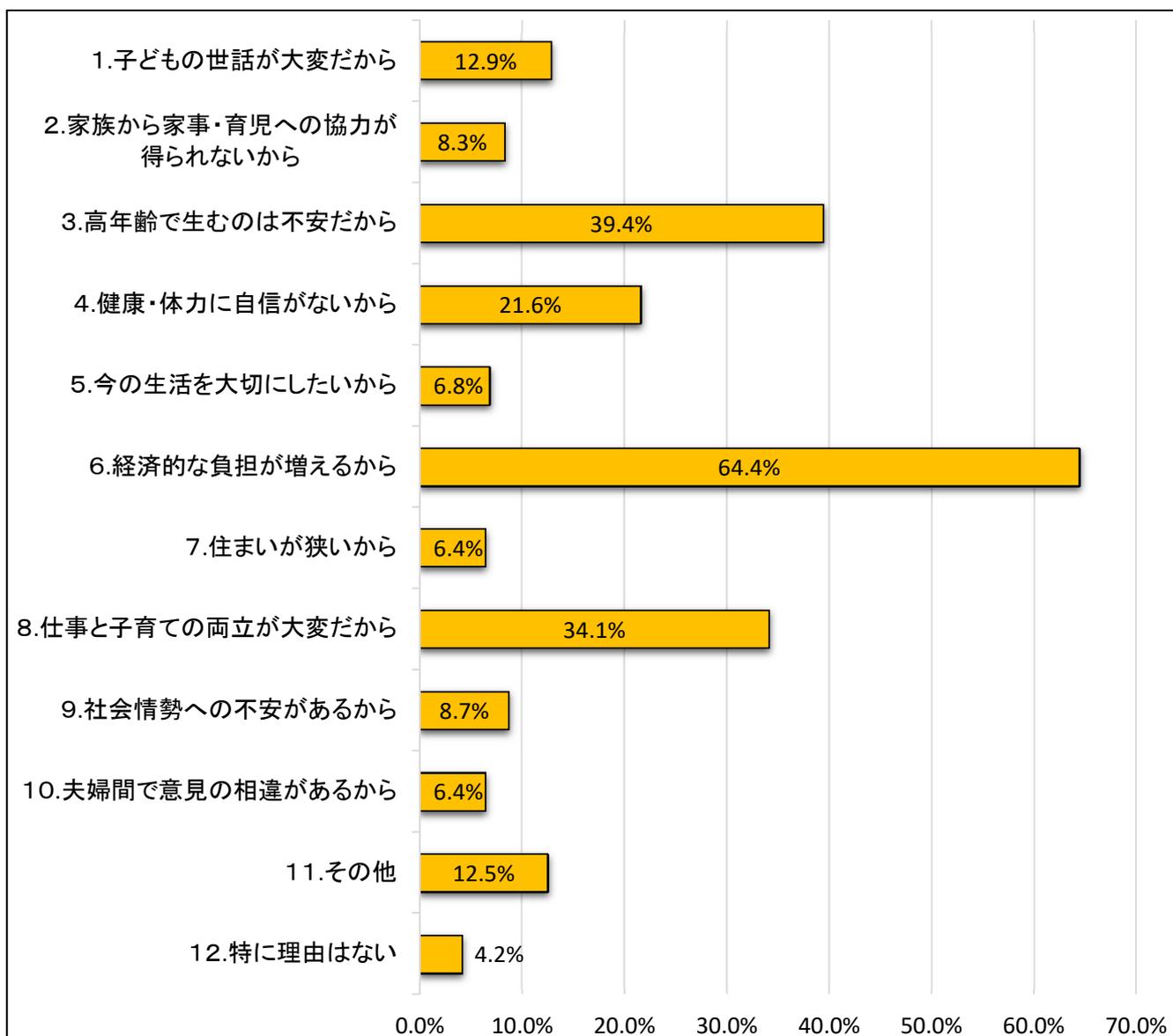


※アンケート回答者687人(全員)に対する割合

【「欲しいと思う子どもの人数」と「実際に予定している子どもの人数」の平均値(単位:人)】



問3-7 問3-5、問3-6で、実際に予定しているお子さんの人数が、欲しいと思うお子さんの人数よりも少ないかたにお伺いします。  
 予定しているお子さんの人数が少ない理由はなんですか。主にあてはまるものに3つまで○をつけてください。



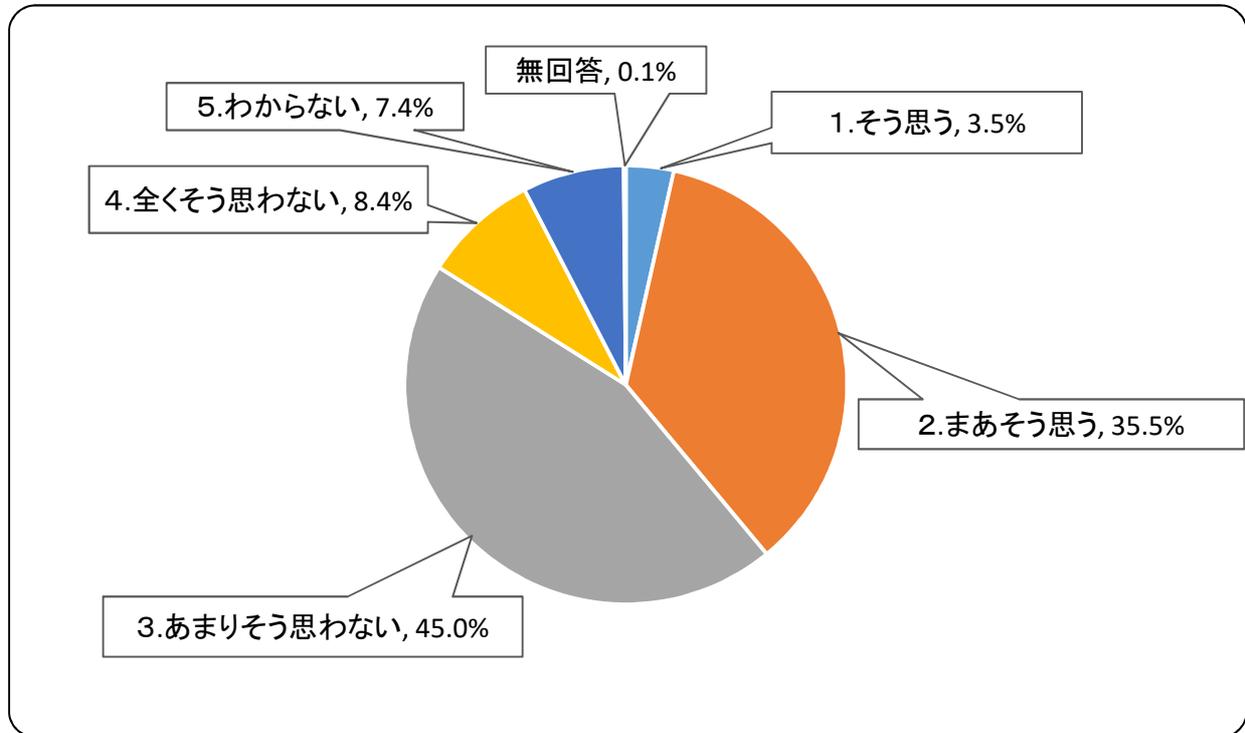
※問3-7に回答した264人に対する割合

【その他内訳】

- ・ パートナーがいない(7)
- ・ 病気や症候群などのため(7)
- ・ 妊娠できなかった(5)
- ・ 子どもや子育て家庭に対する周囲の目が冷たいから(2)
- ・ 妊娠中つわりがひどいので、家族の負担が増えるから
- ・ 価値観や生活感に共感できるパートナーがいないから
- ・ 迷い悩んでいるうちに高年齢になってしまった
- ・ 医師にあまりおすすめしないと言われている
- ・ 適齢期を過ぎたから
- ・ 産休、育休がないので、経済的に厳しくなる
- ・ 障がいや心配だから
- ・ 産まれる子の性別的な問題
- ・ 夫の仕事が忙しく妊娠のタイミングが難しかったことと、高齢でもあり流産したため

**問4 子育て環境についてお伺いします。**

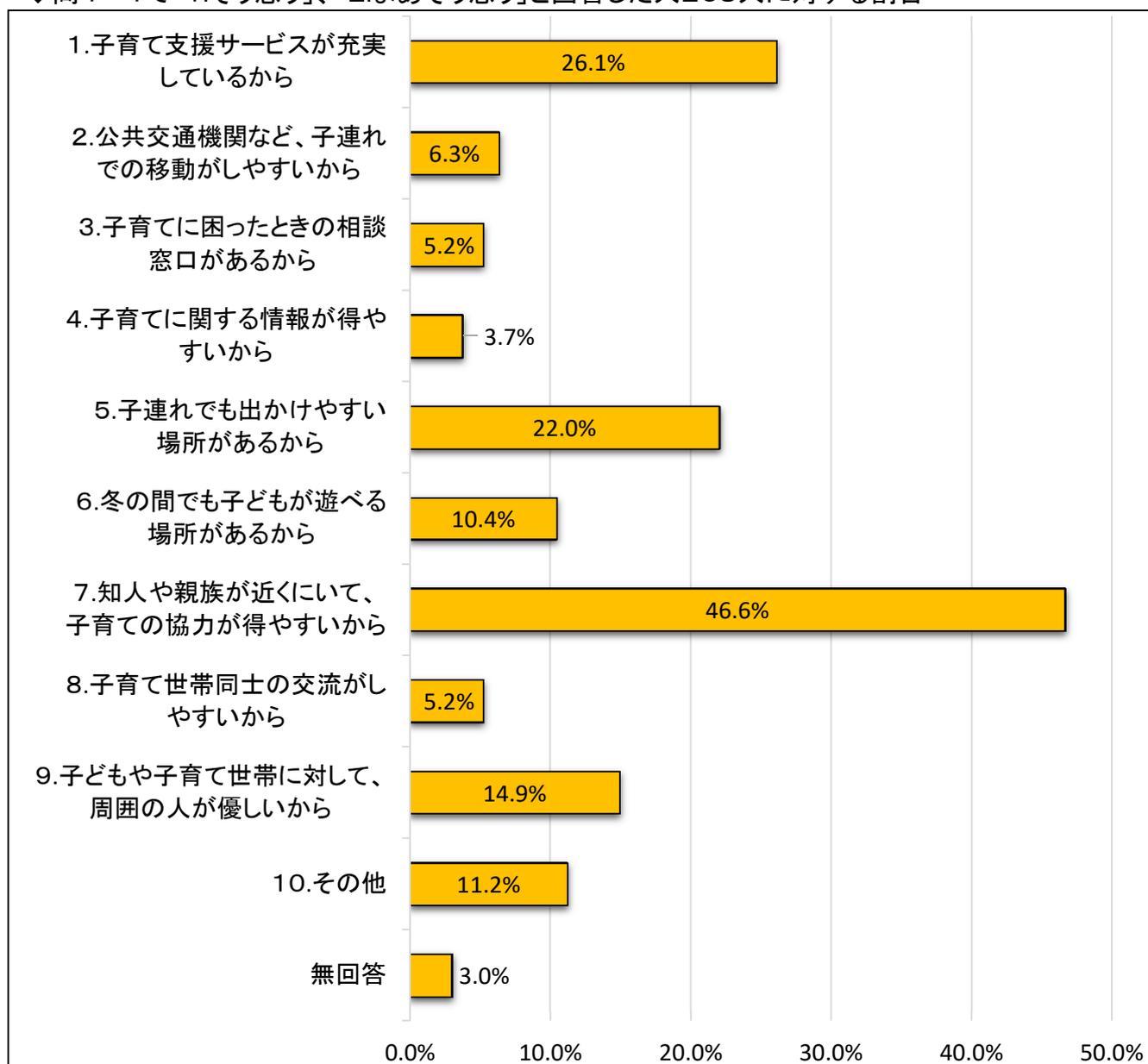
問4-1 あなたは、青森市が、子どもを生き育てやすい環境にあると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。



※アンケート回答者687人(全員)に対する割合

問4-2 青森市が子どもを生み育てやすい環境にあると思う理由はなんですか。あてはるものすべてに○をつけてください。

◆問4-1で「1.そう思う」、「2.まあそう思う」と回答した人268人に対する割合

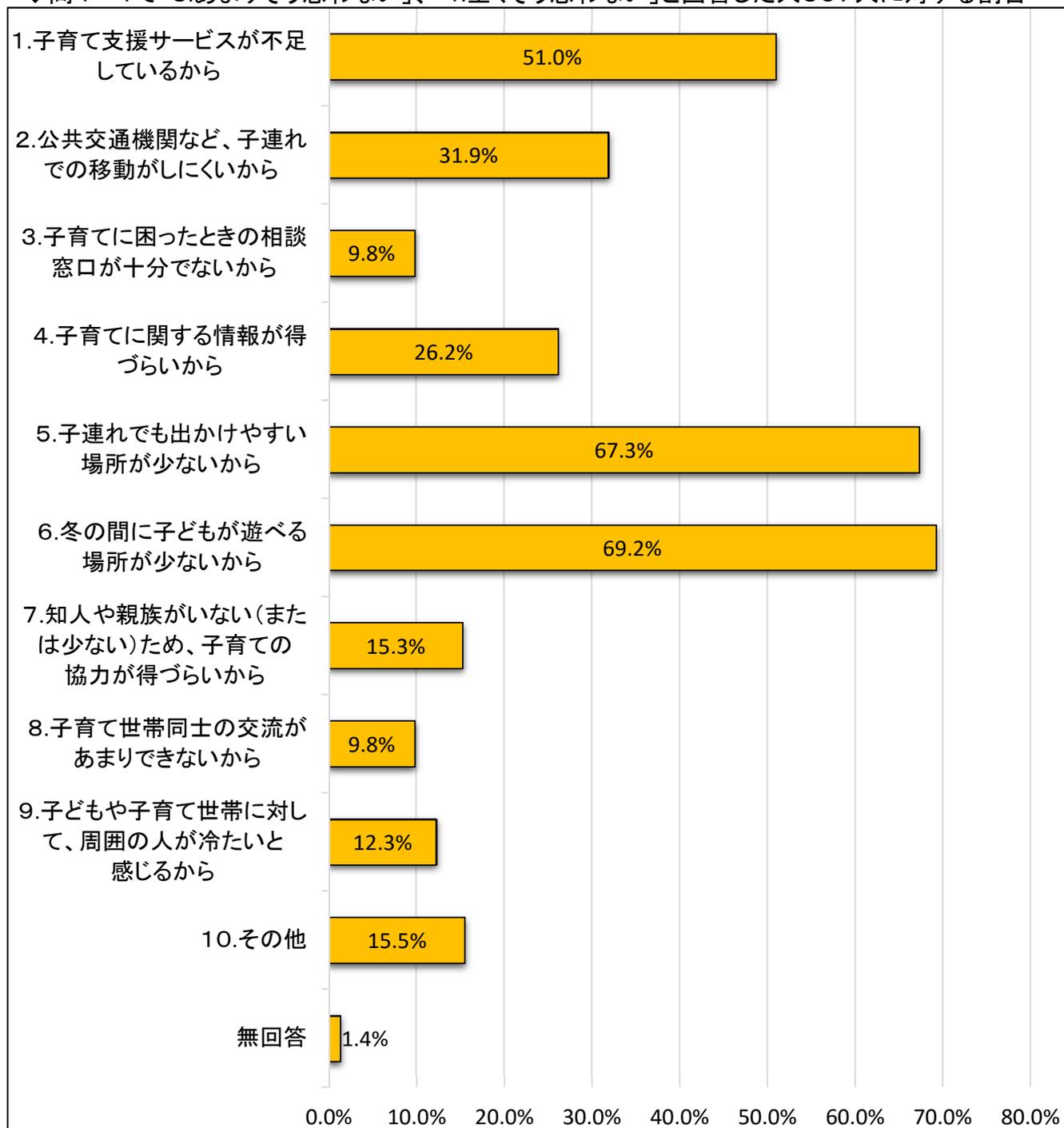


【その他内訳】

- ・ 待機児童が少ないから(3)
- ・ 子ども・子育てに関する経済的支援があるから(8)
- ・ 自然が豊かだから(10)
- ・ 親がいるから
- ・ 都会のようにせかせかしていない
- ・ 自分が生まれた土地なので、特に不便を感じない
- ・ ほどよく田舎だから
- ・ 育てにくいと思ったことがないから
- ・ 1～6は足りないと思う
- ・ 経済水準
- ・ なんとなく
- ・ 特にない

問4-3 青森市が子どもを産み育てやすい環境にあると思わない理由はなんですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

◆問4-1で「3.あまりそう思わない」、「4.全くそう思わない」と回答した人367人に対する割合

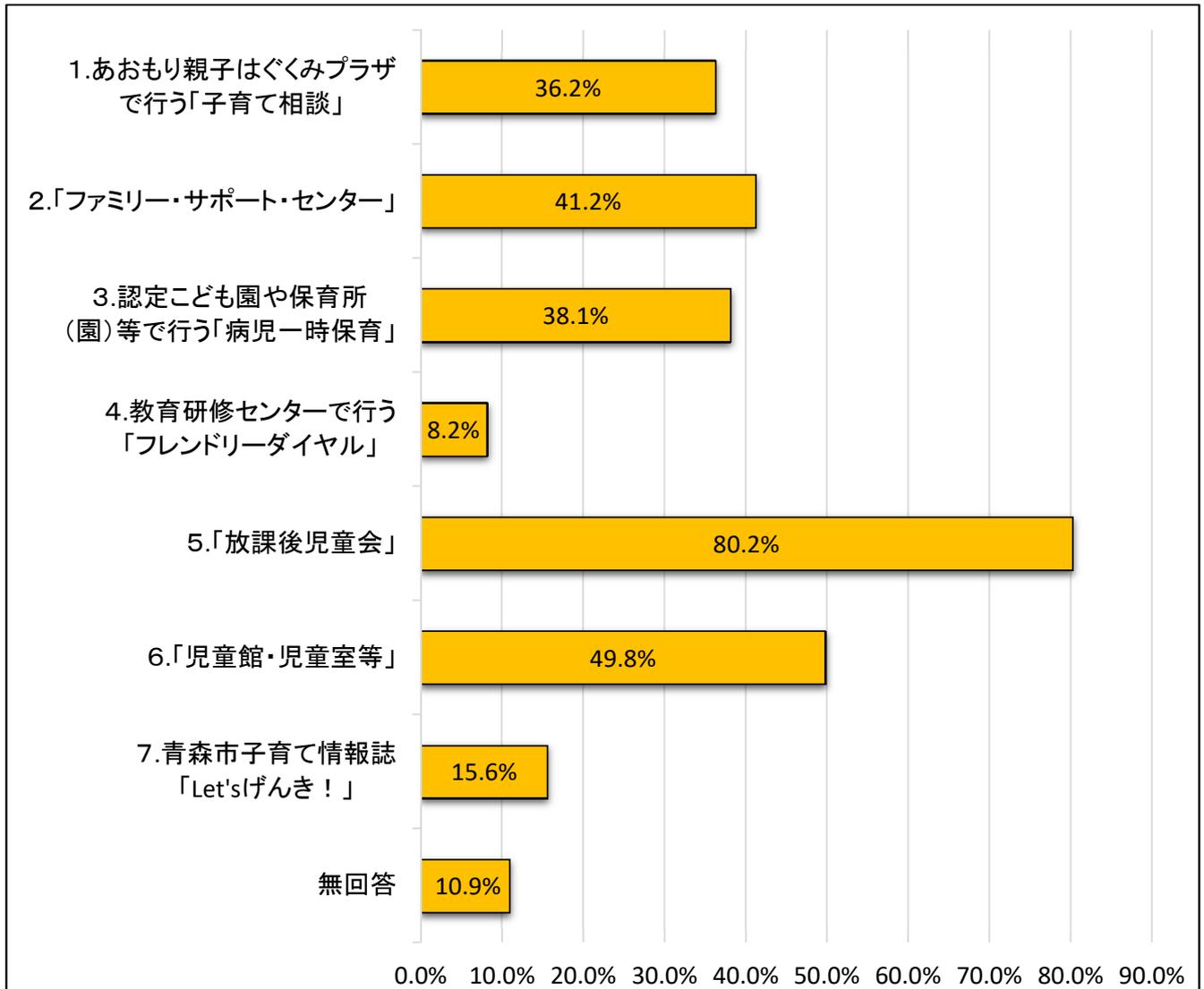


### 【その他内訳】

- ・仕事を休みづらいから(6)
- ・病院(小児科、産婦人科)が少ないから(9)
- ・給料が低いから(5)
- ・子どもの遊び場(公園、遊園地)が少ないから(8)
- ・子ども・子育てに関する経済的支援が足りないから(16)
- ・教育に関する選択肢が少ない(2)
- ・ひとり親への支援が少ない(2)
- ・登下校の際、大人が目が少ない
- ・担任と合わなくても、卒業するまで変わらず子どもの成長に影響があると感じる
- ・小、中、高の校則に自由がない
- ・冬の積雪時の歩道が悪い
- ・教育のレベルが首都圏と差がある
- ・閉塞感が地域的にあると思われる
- ・働いていると、子どもと接する時間や自分の友人の接する時間が少ないと思うから
- ・国の支援が弱い
- ・子どもや子育て世帯優先ではなく、高齢者を大事にするから
- ・児童館など古くて不衛生で今の環境に合っていない(エアコンなど)
- ・除雪がつかなくて住んでたくない
- ・子育て支援サービスの従事者の待遇が悪い
- ・部活動や地域のクラブ活動が少ない
- ・バスの運転手の対応が悪い
- ・高校の合格発表と小学校の卒業式が同じ日なのがとても残念
- ・よく分からない

## 問5 子育て支援サービスについてお伺いします。

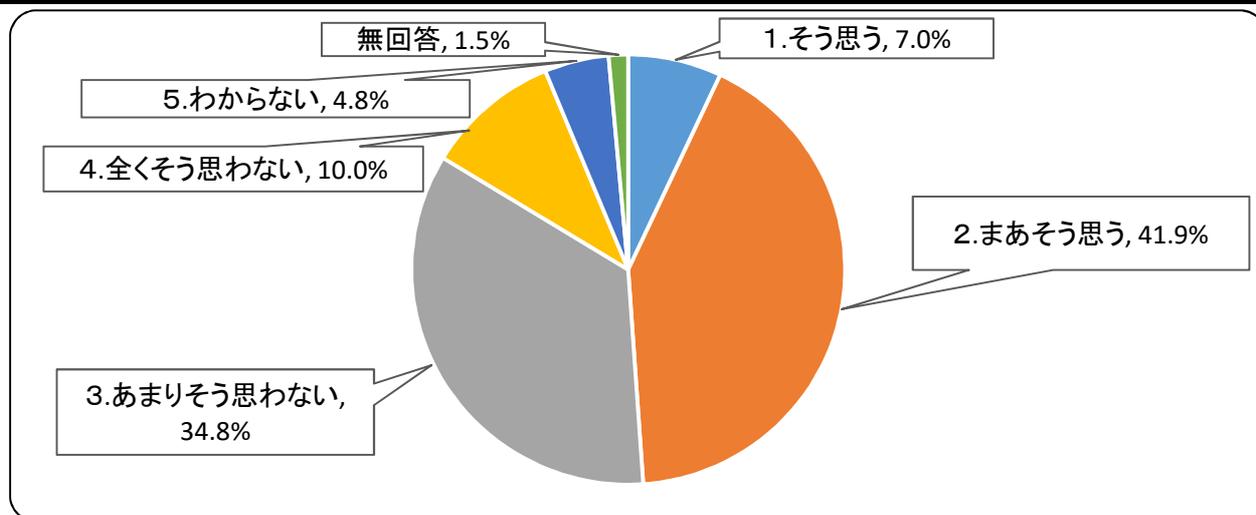
問5 あなたは、青森市の子育て支援サービスを知っていますか。知っているものすべてに○をつけてください。



※アンケート回答者687人(全員)に対する割合

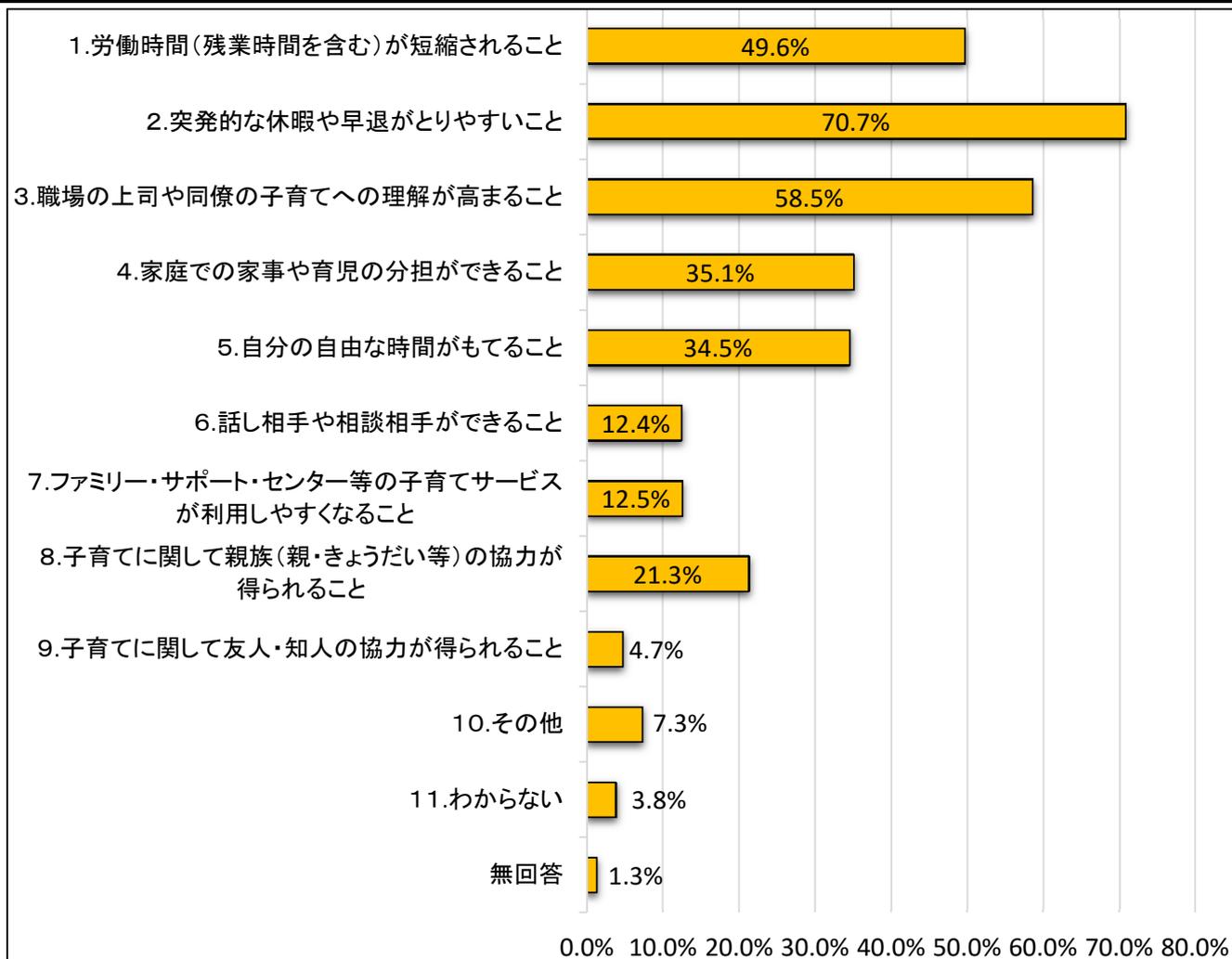
## 問6 仕事と子育ての両立についてお伺いします。

問6-1 あなたは仕事と子育ての両立について、調和がとれていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。



※アンケート回答者687人(全員)に対する割合

問6-2 あなたは、どうしたら、仕事と子育ての調和がよりとれるようになると思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。



※アンケート回答者687人(全員)に対する割合

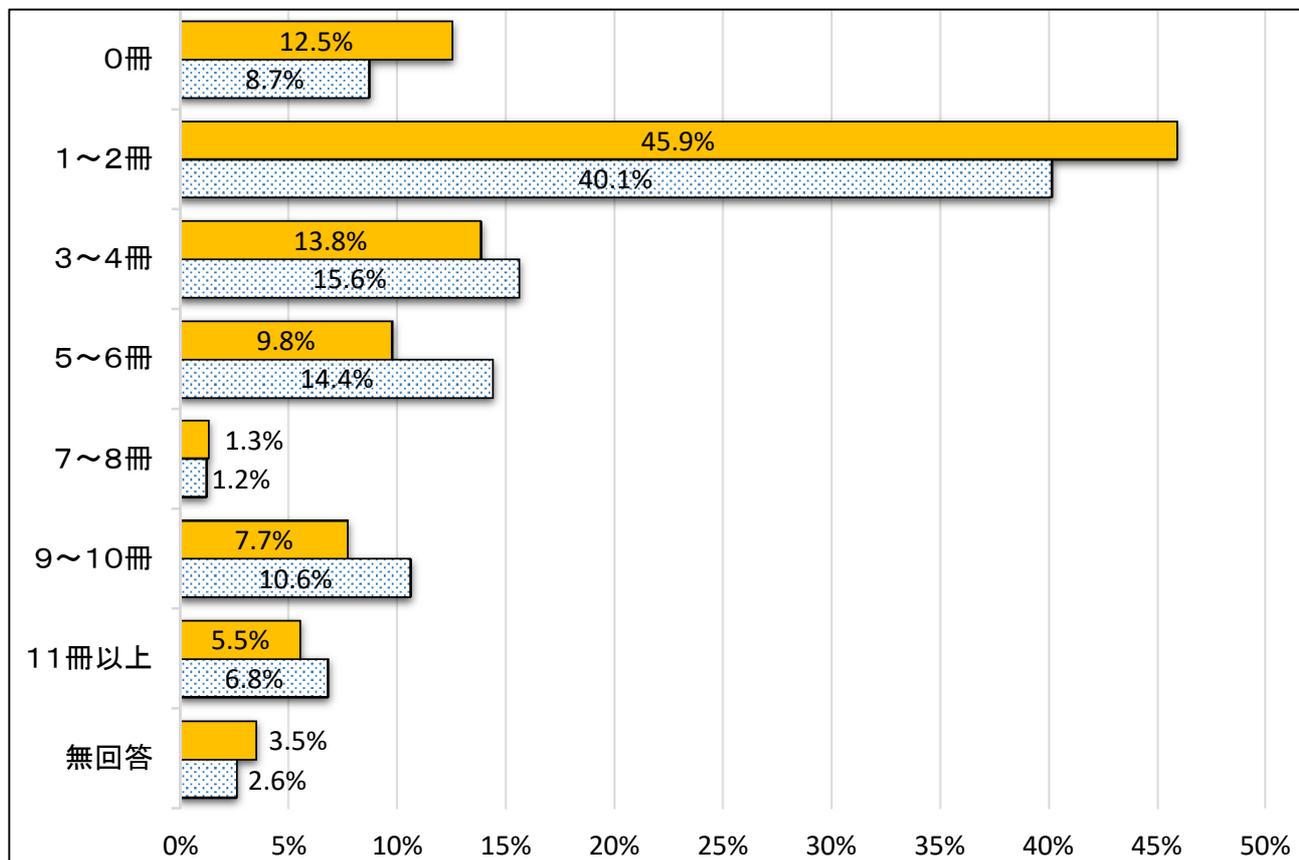
## 【その他内訳】

- ・ 給料が上がること(12)
- ・ 短時間労働でも給料が変わらない(下がらない)こと(3)
- ・ 経済的余裕があること(3)
- ・ 時間的余裕があること(2)
- ・ 経済的支援が増えること(2)
- ・ 在宅勤務ができること
- ・ 通勤時間が短縮されること
- ・ 担っている仕事内容が易くなる
- ・ 一定の休む期間と希望する女性のみチャレンジして出世していったらいいと思う
- ・ 学校の始業時間を遅くすること
- ・ 児童会の料金が高く、入会基準が厳しい
- ・ 精神障害児の理解
- ・ 単身赴任がなくなれば
- ・ 病児一時保育が小学校6年生までインフル等感染症発症時でも利用できること
- ・ 育児時間、介護時間など制度が増えること
- ・ 夜勤が免除される
- ・ 一人親への支援が不十分であること
- ・ 共働き家庭となると近くに祖父母がいないと子育てが成り立たない
- ・ 家にいないで、子ども同士で安心して公園に出かけられること
- ・ 働ける場所が増えること
- ・ ちょうどいい時間帯の仕事が増えて、もう少し労働時間を伸ばせるようになること
- ・ 転職する
- ・ 部活のクラブ化等の保護者の負担が増えて、子育てか仕事かどちらかを犠牲にしないと出来ない
- ・ 時給ではなく成果による給与できる組織も必要
- ・ 子どもが放課後を有意義に過ごせる環境
- ・ 放課後児童会や児童館以外に気軽によれる場所があればありがたい
- ・ 放課後児童会の開設時間が延長されること
- ・ 有給休暇を使わなくてもPTA活動に参加できること
- ・ 勤務時間の短縮
- ・ ファミリー・サポート・センター等が無料で利用できること
- ・ PTA活動の縮小、代行

## 問7 子どもの読書への関わり方についてお伺いします。

問7-1 お子さんは、1か月の間におおよそ何冊の本を読みますか。(読み聞かせをした本も含めてお答えください。)

<上段:令和5年度、下段:平成27年度>



※R5アンケート回答者687人(全員)に対する割合

### 【H27調査時との比較】

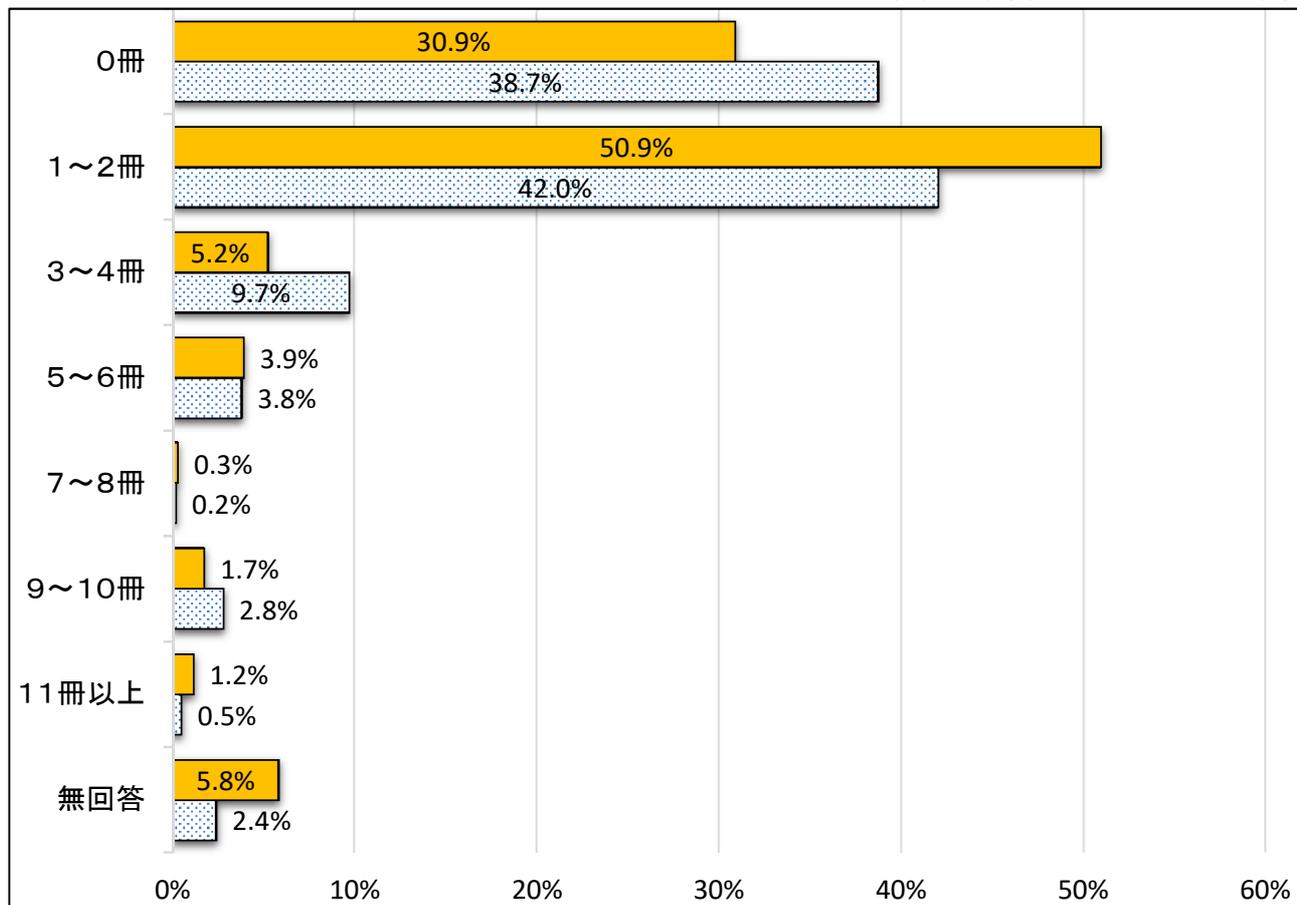
区分	R5	H27	R5-H27
0冊	12.5%	8.7%	3.8%
1冊～2冊	45.9%	40.1%	5.8%
3冊～4冊	13.8%	15.6%	-1.8%
5冊～6冊	9.8%	14.4%	-4.6%
7冊～8冊	1.3%	1.2%	0.1%
9冊～10冊	7.7%	10.6%	-2.9%
11冊以上	5.5%	6.8%	-1.3%
無回答	3.5%	2.6%	0.9%
計	100.0%	100.0%	-

※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

◆「1冊～2冊」(45.9%)と回答した人が最も多く、平成27年度(40.1%)から5.8ポイント増加している。以下、「3～4冊」(13.8%) — 平成27年度(15.6%)から1.8ポイント減少 —、「0冊」(12.5%) — 平成27年度(8.7%)から3.8ポイント増加している。

問7-2 あなたは、1か月の間におおよそ何冊の本を読みますか。

＜上段：令和5年度、下段：平成27年度＞



※R5アンケート回答者687人(全員)に対する割合

【H27調査時との比較】

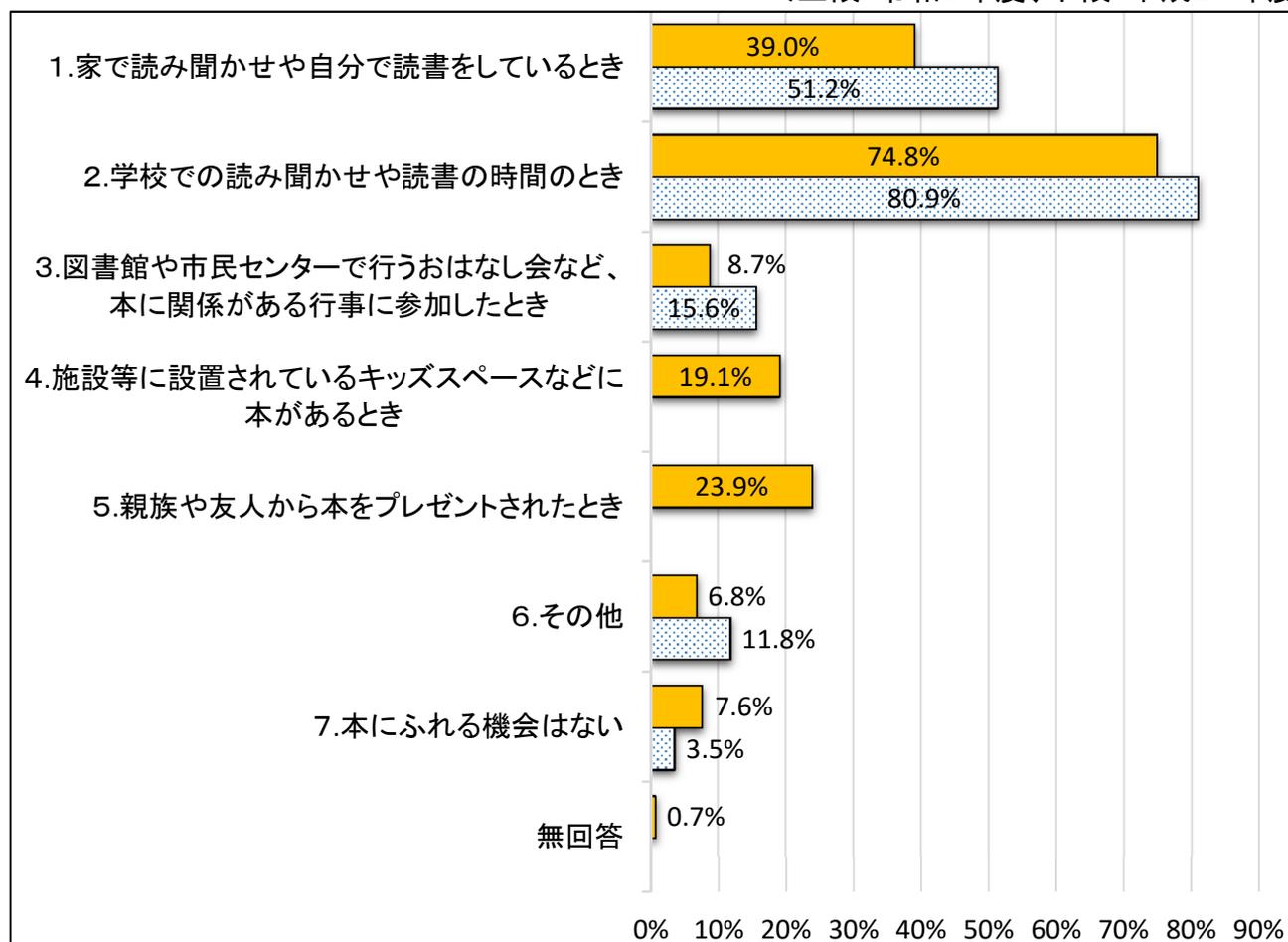
区分	R5	H27	R5-H27
0冊	30.9%	38.7%	-7.8%
1冊～2冊	50.9%	42.0%	8.9%
3冊～4冊	5.2%	9.7%	-4.5%
5冊～6冊	3.9%	3.8%	0.1%
7冊～8冊	0.3%	0.2%	0.1%
9冊～10冊	1.7%	2.8%	-1.1%
11冊以上	1.2%	0.5%	0.7%
無回答	5.8%	2.4%	3.4%
計	100.0%	100.0%	-

※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。(無回答を除く)

◆「1冊～2冊」(50.9%)と回答した人が最も多く、平成27年度(42.0%)から8.9ポイント増加している。以下、「0冊」(30.9%) — 平成27年度(38.7%)から7.8ポイント減少 —、「3冊～4冊」(5.2%) — 平成27年度(9.7%)から4.5ポイント減少している。

問7-3 お子さんは、どのような機会に本にふれますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

<上段:令和5年度、下段:平成27年度>



※R5アンケート回答者687人(全員)に対する割合

【その他内訳】

- ・ 本屋に行ったとき(10)
- ・ 興味のある本を買ったとき(4)
- ・ 読書が宿題として出されたとき(4)
- ・ 図書館に行ったとき(10)
- ・ テレビで興味のある本が紹介されたとき(2)
- ・ 家にある本を読んでいる(2)
- ・ 図鑑をよく見ている(2)
- ・ 家で自分の好きな所で小説や漫画を読んでいる
- ・ 放課後デイサービスで読み聞かせをしてもらっている
- ・ 友人から貸してもらったとき
- ・ 児童会に行くとき
- ・ 病気で休んだとき
- ・ 自ら進んで読んでいる
- ・ 親からバースデープレゼントで本をもらったとき
- ・ 友達から流行を聞いたとき
- ・ 気に入った本を見つけたとき
- ・ 寝る前
- ・ 漫画
- ・ 学校で図書委員をしているとき
- ・ リビングで手の届きやすい場所に本が並べてある

【H27調査時との比較】

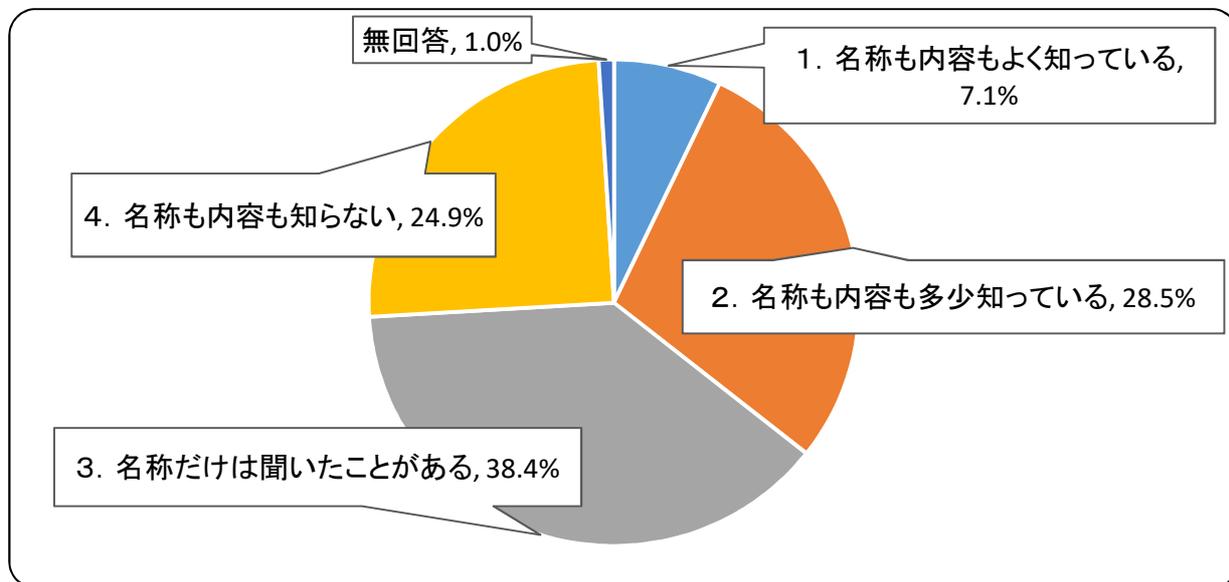
区分	R5	H27	R5-H27
1.家で読み聞かせや自分で読書をしているとき	39.0%	51.2%	-12.2%
2.学校での読み聞かせや読書の時間のとき	74.8%	80.9%	-6.1%
3.図書館や市民センターで行うおはなし会など、本に関係がある行事に参加したとき	8.7%	15.6%	-6.9%
4.施設等に設置されているキッズスペースなどに本があるとき	19.1%	-	-
5.親族や友人から本をプレゼントされたとき	23.9%	-	-
6.その他	6.8%	11.8%	-5.0%
7.本にふれる機会はない	7.6%	3.5%	4.1%
無回答	0.7%	-	-

※着色した数値は回答率の上位3項目を表す。

◆「学校での読み聞かせや読書の時間のとき」(74.8%)と回答した人が最も多く、平成27年度(80.9%)から6.1ポイント減少している。以下、「家で読み聞かせや自分で読書をしているとき」(39.0%) — 平成27年度(51.2%)から12.2ポイント減少 —、「親族や友人から本をプレゼントされたとき」(23.9%)となっている。

## 問8 子どもの権利についてお伺いします。

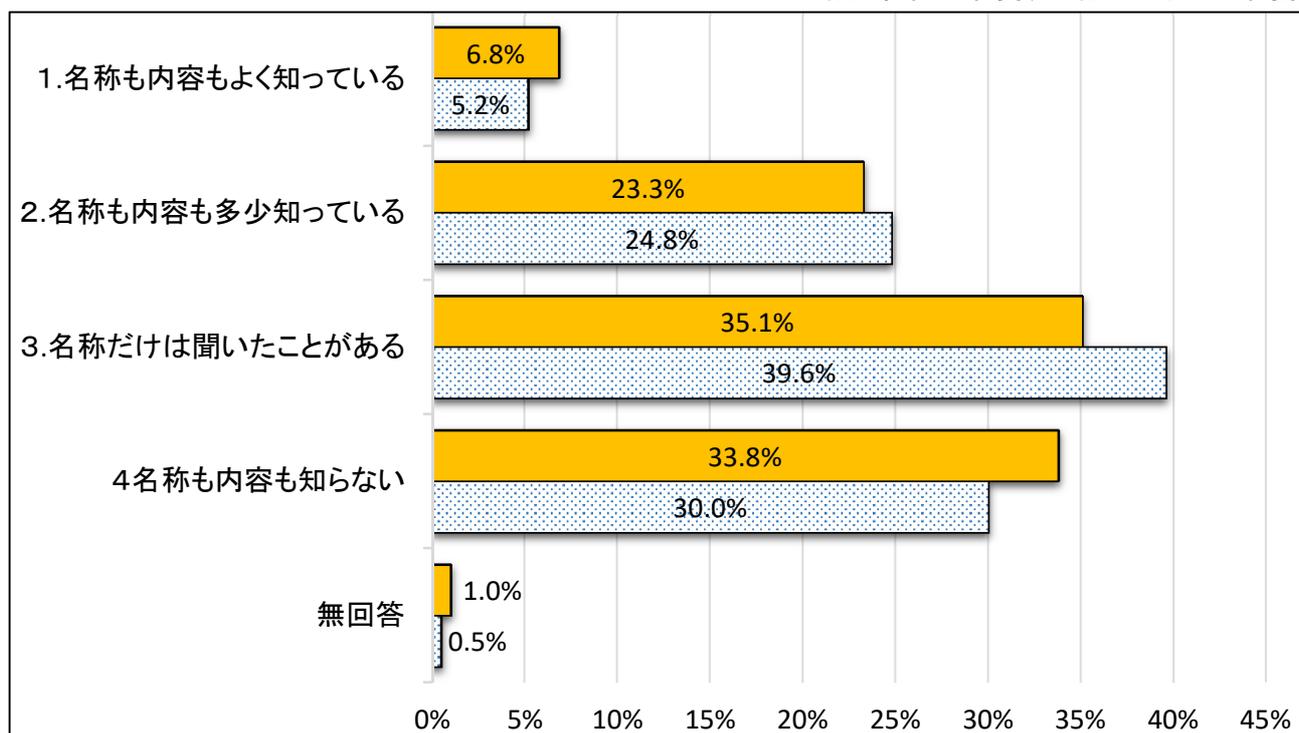
問8-1 あなたは、「子どもの権利」について知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。



※アンケート回答者687人(全員)に対する割合

問8-2 あなたは、いじめ、虐待、体罰等の子どもの権利侵害に関して、その救済と権利の回復を図るための相談・救済機関「青森市子どもの権利相談センター」があることを知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

<上段:令和5年度、下段:平成27年度>



※R5アンケート回答者687人(全員)に対する割合

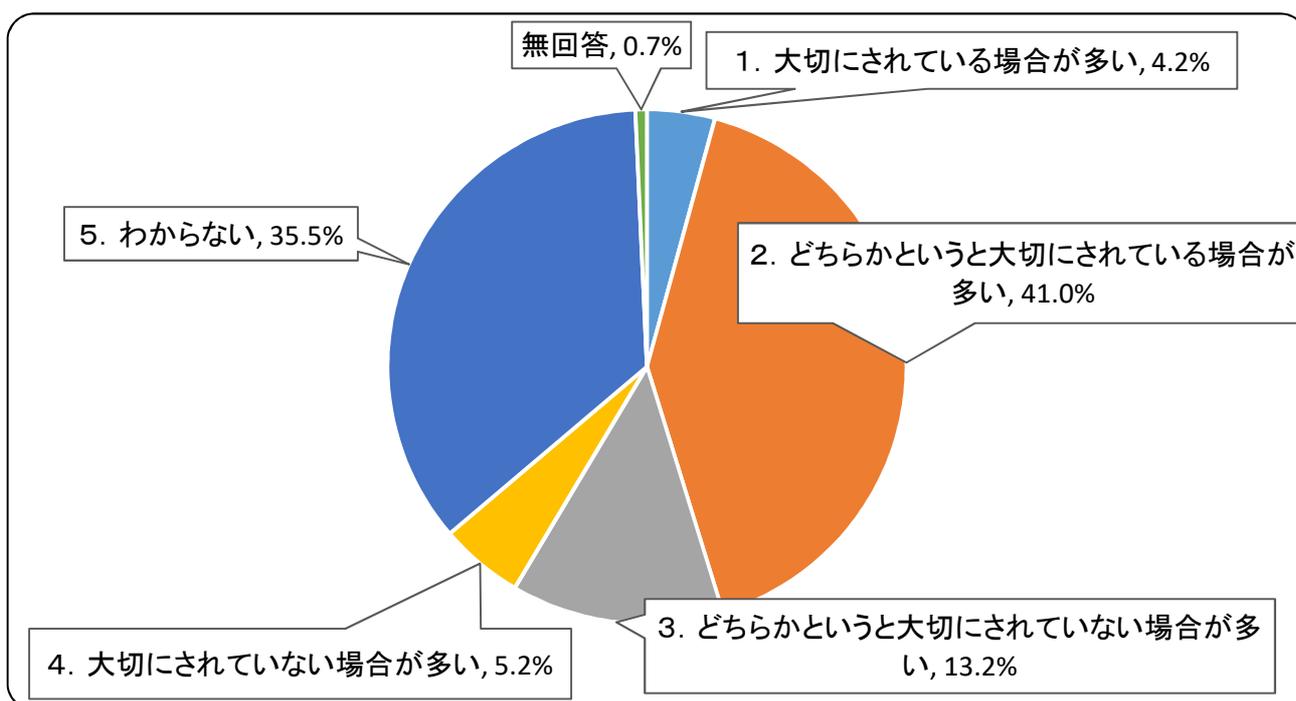
【H27調査時との比較】

区分	R5	H27	R5-H27
1. 名称も内容もよく知っている	6.8%	5.2%	1.6%
2. 名称も内容も多少知っている	23.3%	24.8%	-1.5%
3. 名称だけは聞いたことがある	<b>35.1%</b>	<b>39.6%</b>	-4.5%
4. 名称も内容も知らない	33.8%	30.0%	3.8%
無回答	1.0%	0.5%	0.5%

※着色した数値は回答率が最も高い項目を表す。

◆「名称だけは聞いたことがある」(35.1%)と回答した人が最も多く、平成27年度(39.6%)から4.5ポイント減少している。以下、「名称も内容も知らない」(33.8%) — 平成27年度(30.0%)から3.8ポイント増加 —、「名称も内容も多少知っている」(23.3%) — 平成27年度(24.8%)から1.5ポイント減少している。

問8-3 生活全体を考えたとき、青森市では、子どもの権利が大切にされていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。



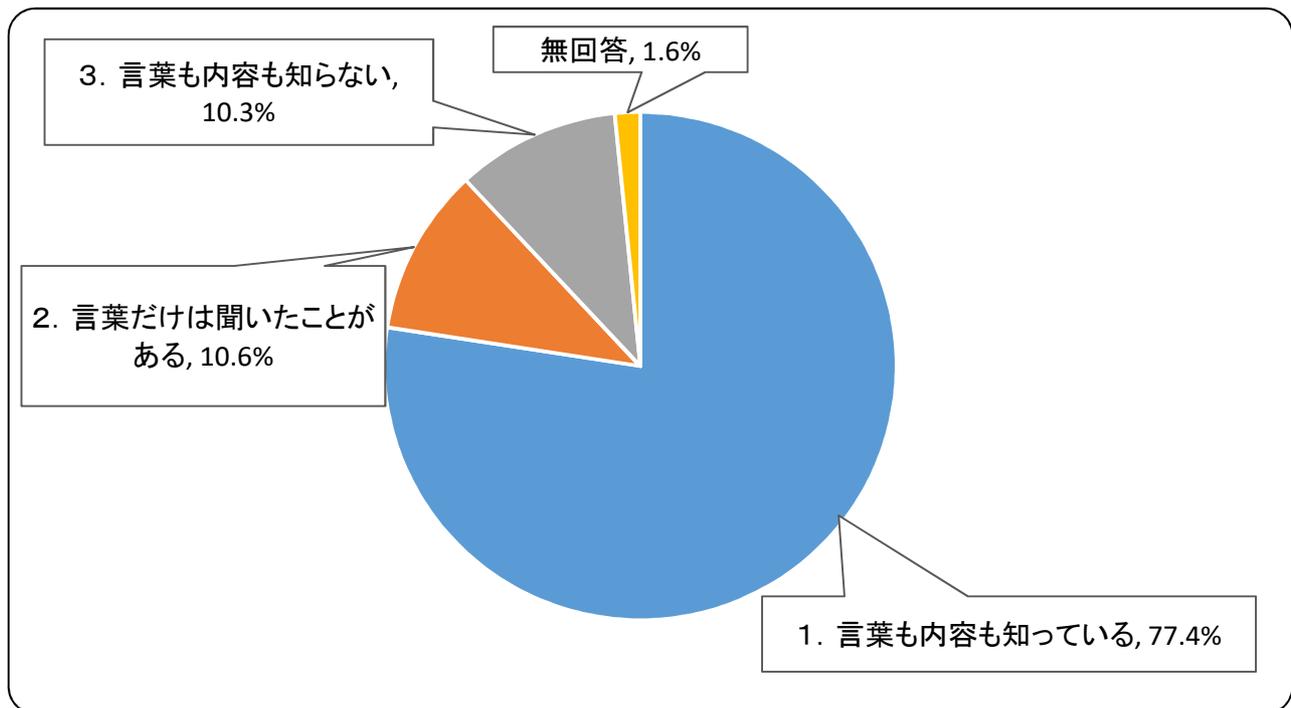
※アンケート回答者687人(全員)に対する割合

## 問9 「ヤングケアラー」についてお伺いします。

問9 「ヤングケアラー」(※)という言葉を知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

※ヤングケアラー

本来、大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものこと。

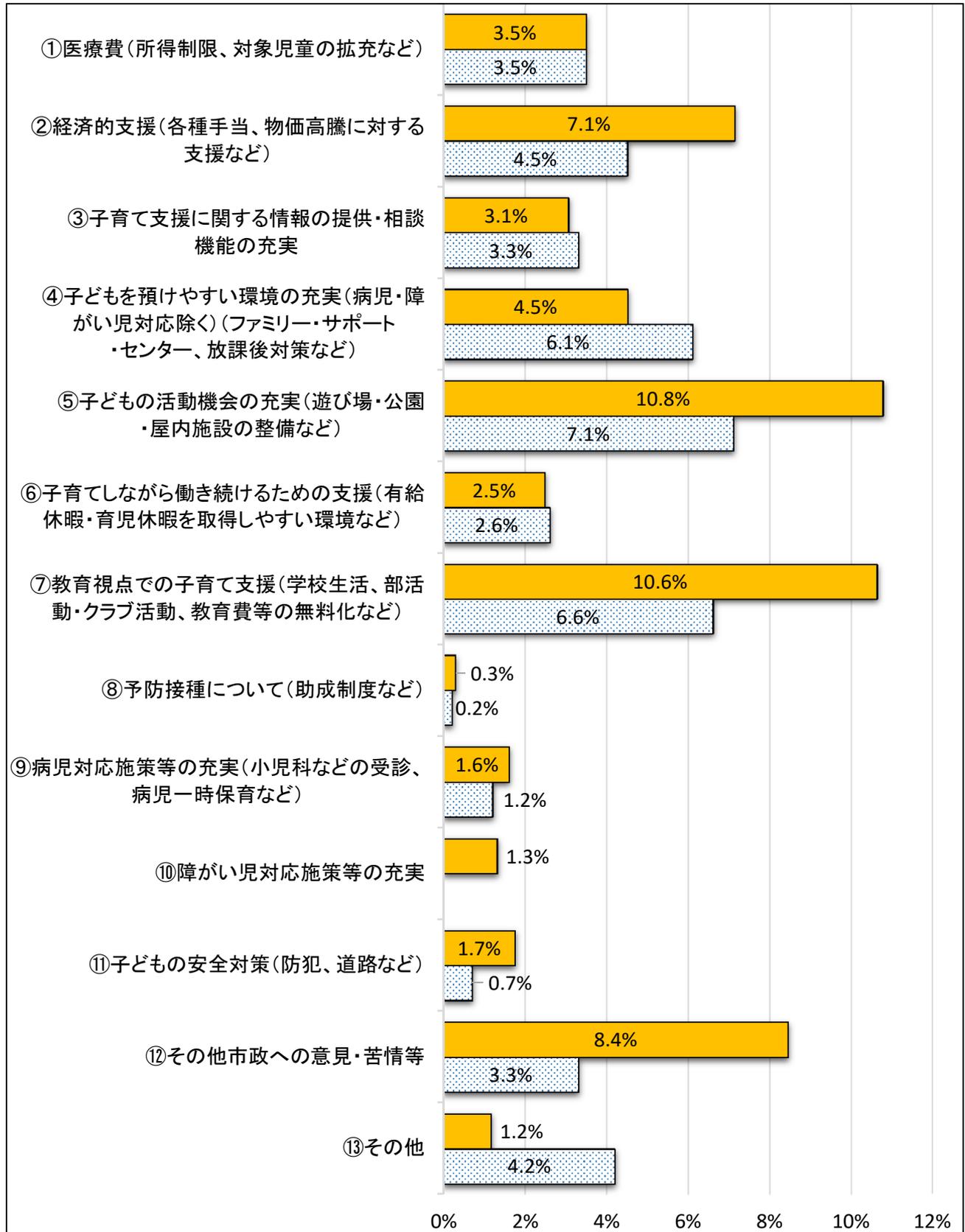


※アンケート回答者687人(全員)に対する割合

問10 行政サービスへ期待することについてお伺いします。

問10 子育て支援に関するご要望、ご意見がありましたら、ご記入ください。【自由記載】

<上段:令和5年度、下段:平成27年度>



※R5アンケート回答者687人(全員)に対する割合

### 3 自由記載覧の意見一覧

#### 問10【記載内容】

①医療費(所得制限、対象児童の拡充など)	
1	子ども医療費助成の所得制限の廃止、青森市で一生懸命働きながら、3人の子育てをしている中、子供にかかる医療費は助けていただきたい。
2	高校生も医療費の負担なし。
3	医療費の無償化は今後も継続でお願いしたいです。
4	子供達こそ医療費がかかるのに、所得制限があると年間20万円以上のお金がかかり大変。そこをみなおしてほしい。
5	医療費助成はとてもありがたいです。
6	高校生までの医療費、自己負担を無料にして欲しいです。
7	知識不足でしたが、子どもが高熱をだし、青森市の救急外来で診療しましたが、医療費助成制度が適用されず5千円の治療費がかかりました。今後は救急外来は利用できない。
8	医療費については助かっており、子どもを受診させやすいです。
9	医療費助成を高3までにして欲しいです。
10	学生のうち(高校生)は医療費助成制度対象だと助かる。
11	子どもの医療費を18歳まで無料にしてほしい。
12	医療負担について、助成対象から外れた際の負担が大きい。場合によっては、通院を控えることもあるほどである。
13	高校生の医療費無料。お金がかかってくる年頃に、医療費もかかるととても負担に感じます。
14	私の子供が小さい頃よりは産みやすく育てやすい環境になってきたとは思いますが、まだまだ子育て世代が仕事との両立をしていくには厳しいと思う。給食費の無償化にもなったが、18歳までの医療費助成などあればいいと思う。
15	高校生以上の医療費も無料にしてほしい。
16	高校生までは医療費無料にしてほしい。
17	医療費無料の支援は収入の制限をつけないでほしい。生活を楽にしようと頑張っていたら、結果的に支援を減額または対象外にされるのは本当に悲しい。
18	乳児～園児、小学生までは手当や医療費など手厚い印象ですが高校生以上になると、医療費などの負担が大きいのが気になります。高校生でも病院は通うし、むしろお金もかかります。
19	中3の上の子がまだ保育園の頃、医療費助成がスタートし、小児科で具合が悪くぐずっている中、抱っこして会計のやりとり、財布への出し入れ、大変だったのが非常にラクになり、感激したのを覚えています。ありがたく、今でも感謝しています。
20	母子家庭支援を現代に見合った内容にしてほしい。就学時援助に医療費無料があるが対象でない方も無料なので、対象の事を考え現在の社会に適している内容にしてほしい。
21	医療費控除や給食費控除は、大変助かっています。医療費控除はぜひ高校生にも適用してほしいです。
22	高校生の病院無料化。
23	子ども医療費の完全無料化。
24	医療補助などを年収で区切らないでほしい。子どもは平等だと思うし、家の事情が他に知られて子どもの友達関係に支障がでたりする。(少なくとも多くてもそれぞれ肩身狭い思いをするときがある。特に病院で知人いるときなどこそそそしないとならない)親もそうだが子どもにそういう思いをさせたくない。

## ②経済的支援(各種手当、物価高騰に対する支援など)

1	ひとり親世帯や低所得世帯にばかり給付金などの支援があり、中間層への支援がなさすぎると感じる。あと、最近、多子世帯として3人以上の世帯を優遇するニュースをやっていますが、3人以上の世帯ではなく、まずひとり目を優遇した方が少子化対策になるのでは？と思います。
2	児童手当の所得制限の廃止。児童手当もないので、青森市で住所を得て働くことにあまり青森市の為にと思わない。
3	放課後児童会の無償化。
4	児童手当、扶養控除廃止になったら青森市民の所得で夫婦共働き、車2台所有、光熱費やガソリン代を考えた上で子どもを産み育てるには1人が限界。夫婦が子どもを2人以上産まなければ少子化は止まらないが、生活が出来なくなる。一時的にはではなく、18歳まで安心して育てられる金銭的支援等を見直してほしい。
5	我が家は子2人、それぞれ塾やスポーツの習い事を3つくらいずつさせています。やりたい事をなるべく習わせたいからです。クラブ化が進む中、何でも料金がかかります。習い事の月謝～送迎～教材～ユニフォーム衣類、試合、試験、全てに、当然ですがお金がかかります毎月3万以上です。金欠だから辞めさせるわけにもいかず、支払いの為に働き、時間とお金が全て子供の為についてやされています。なのでこの時期、クリスマス～正月前の給付金は本当にありがたく助かります。今後も定期的に給付してほしいです。
6	子育て支援金を増やして欲しい。
7	以前は児童手当を進学のために貯めていましたが、制限の為なくなっていました。3子まで大学卒業させるために今まで通り元気に働いていられるかがとても不安です。親の娯楽のために使う家庭もあると方々から聞くので、現金支給ではなく市民みんな平等に子供の進学に対して支援していただきたいと思っています。
8	ファミサポは知っていて登録もしていますが、やはりお金がかかる為利用したことがないです。一定条件などで無料にしてほしいです。
9	低所得者世帯だけではなく、税金を納めている世帯にも金銭的支援は必要です。特に青森は冬期の光熱費が高すぎます。プロパンガス等、都市ガスとは違い高額すぎます。
10	物価が上がると子供の物も高くなってきている。子育て支援金がありますが、無料のものも増えると助かります。
11	子どもを育てるのにはお金が必要で産みたくても産めない状況。子どもを産み育てることで金銭面で税金負担が減るようにしてほしい。
12	子育てに関するお金のかからない制度に期待します。
13	児童手当が収入制限が無くなったのに、児童扶養手当が制限があるのが納得できない。
14	子ども手当についても、年齢が上がると金額が下がるのは疑問。必要な支援は大きくなるのだから(子どもが大きくなるにつれて)赤ちゃんより小学生、小学生より中高生と手当てを大きくしてほしい。
15	児童手当が少ない。
16	経済的な支援が必要です。
17	児童手当の金額を増やして欲しい。
18	病児保育、ファミサポを利用しやすくしてほしい。預けて仕事をすると払うお金が高すぎる。
19	金銭面での援助があると大変助かります。保育園ですが、今は無償化にはなっておりますが、最近の大学無償化もそうですが、兄弟の年齢の差をもっと幅広く捉えていただきたいです。保育園の場合、2人同時入所とか歳が近ければ優遇されている感じがあります。
20	子育てにかかる費用の助成制度を拡大してほしい。
21	子どもの手当や支援金(商品券なども)を年取で区切らないでほしい。
22	収入がそれなりにあり、児童手当等の減額を受ける家庭もあると思いますが、支払い状況や生活内容を見てから決めてほしいです。ひとり親なのは事実なのでから。
23	子育て世代に対して、もっと金銭的な援助が欲しい。

24	子どもに十分なものを買ってあげたいので商品券やお金など、もっとほしい。
25	児童手当を高3までにして欲しいです。
26	給料の割に生活費がかかりすぎる。非課税世帯や一人親世帯、生活保護世帯ばかり給付金などがあり、納める税金ばかり増えている。子どもが増えると住むアパートなど住居の家賃も青森市は年収の割に高いと思う。
27	金銭面での支援の拡充。
28	児童手当の年齢による支給額の見直し。(例)中学生まで一律15,000円(1ヶ月)
29	子育ての支援金とくに夏休み、冬休み出費が大きいので支援頂けたらうれしいです。
30	サービスに関して、所得制限が多く、何も受けられず、多子世帯で全く生活に余裕がなく、不公平である。
31	どんどん過疎化している青森市ですので、本気で子育てに関する環境を整えていただきたい。まず、保育料。大半は子供を育てる親の収入が少ないのが現状です、ライフラインに関する費用の一部負担などもやってほしい。
32	子育て家庭に手当が今以上あればと思います。
33	継続して、金銭的支援が受けられるようになってほしい。
34	子供にかかる物は無料にしていただけなら助かります。子育てにはお金がかかります。最近は物価上昇でそれだけでも大変です。これだと子供は増えなし、育てにくい。
35	ひとり親家庭に対する継続的な支援がもっと必要。扶養手当が少なすぎる。本当に大変です。
36	金銭の支援。
37	子ども手当は収入の制限をつけないでほしい。
38	高校までの手当ありがたいが、本当に扶養控除なくなると意味がないから不満。青森は、ガソリン、光熱費、冬タイヤにお金がかかる。子供費用にあてたいが、生活でいっぱいです。やりたい事をやらせてあげられない。
39	現金支給など。
40	子育て世帯への給付金や、減税など優遇措置の充実をして欲しい。
41	金銭的援助を手厚くして欲しい。無償化や手当など。
42	費用助成や給付金の所得制限を撤廃するなど収入に関わらず平等に扱って欲しい。仕事と子育てを両立している家庭が一番行政の恩恵を受けることが出来ていないと感じている。
43	この度のこども子育て世帯応援金が適用となり大変有難く思います。我が家では他県から児童手当を支給していただいており青森市からの子どもが対象の応援金などは今まで対象外でした。子どもは青森市内に住んでおり広報あおもりをみては青森市は市民思いだなあと感じておりました。今回は青森県からの支給とのことですが県、市一丸となり子どもたちのために保護者のためにと尽力して下さっていることに感謝致します。これからも応援宜しく願います！
44	各種手当や支援等において、所得制限を設けないで欲しい。所得が高いからといって、必ずしも裕福とは限らない為。
45	子育てするにあたっての金銭面的負担をもっと軽減して、期間も延ばして欲しい。
46	資金的な援助が、高校生まで続くと助かる。
47	母子家庭の子育て世代はとても子育てし生活するには住みにくい環境にある。扶養手当も現在最低賃金が上がっているのだから、扶養手当基本額を改正してもらえないと働き方子育てに窮屈を感じる。
48	経済的支援について、低所得世帯の支援に偏ることなく充実させてほしい。特に高校、大学生を持つ家庭を経済的に支援してほしい。
49	高齢者世帯も子育て世代も夏季、冬季期間、電気代や灯油代の補助が少しでもあれば助かる。青森県、市、独自の支援があるといいと思う。
<b>③子育て支援に関する情報の提供・相談機能の充実</b>	
1	子育て支援をもっと身近に知る環境をつくってほしい。(アプリとか)子どもは風邪ひくし熱も急に出す。その時にすぐ病児保育やみてもらえるサポートを知っていることでも安心する。

2	もっとわかりやすくアピールしていただいてもよいと思う。こちらから聞かないと知れないのではなく、目につくようにして誰でもわかるような感じになればさらによいと思う。
3	子育てについては、毎年その年齢が上がるなりの悩みごとや疑問、困り事がかわってくる。直接声を届けることができるような、そしてそれに答えがもらえるようなシステムをつくってほしい。
4	施設やイベントがあったとしても知る機会が少なくて、終わった後に知るなどがあるため、もう少し工夫をしてほしい。
5	聴覚障害が判明した際、相談できる行政相談やサービスは青森市HPでは担当課ごとバラバラに記載されており見づらく、探すのに時間がかかりました。ワンストップで分かりやすくしてほしいです。また、放課後等デイサービスについても情報が不十分であるため改善を求めます。
6	子育て支援サービスの情報が得づらい。気軽に利用できると助かる。
7	子育て支援の行政サービスをTVでも具体的に放送すると認知度が上がるのではないかと思います。また、YouTubeで定期的に配信するなど…。
8	ワンストップで相談できる所。
9	どの季節でも家族で地域のイベントに参加するのを楽しみにしてます。後でわかることもあるのもっと宣伝していただきたいです。紙の広報より、SNSでイベント情報発信等。インスタ等でフォローしてる人向けにサービスやアンケートがあれば意見しやすい。
10	子どもを守るためには、療育する親の支援は必要不可欠だと思います。シングルで子育てしている方は特に厳しい状況に置かれていると思うので、金銭的な支援ももちろんですが、どこに相談したら良いとか、人とつながり、助けを求めやすい青森市になってほしいと思います。
11	相談場所は本当にわかりにくいと思っています。
12	高学年になるほど、預け先が無かったりサポートを受けられる機会が少なくなっていると思います。難しい年頃だからこそ子育ての悩みが尽きないのですが、思春期の子を持つ親に対しての相談窓口があるとありがたいです。
13	子供に関する事全般のポータルサイトがあればいい。
14	活動実態がよくわからない。積極的でわかりやすいプロモーションが必要ではないか。
15	子どもが遊べる場所を市のホームページなどに一覧で載せてもらうなど、分かりやすい情報の提供を期待します。
16	子育ての相談も未就学児は多い気がしますが小学生以降だと分かりづらいです。また平日は休みではないので相談がしにくいのでメールやSNSなどで好きな時間にできたらいいと思います。
17	今回のアンケートで知らないことも多かったので、色々な形で発信してほしいと思います。
18	障害児に対するサービスや、情報をわかりやすくして欲しい。
19	周知活動も活発にしてもらわないと知らない制度や相談機関などが多いと思うので、きちんとアナウンスしてもらいたい。
20	小学校(低学年)が利用できる病児保育の施設一覧など、分かりやすく教えてほしいです。保育園の時は、どこにそういう施設があるか分かりやすかったが、小学校に入った途端、そういったサービスを受けにくくなったと感じます。
21	発達相談などの(発達障害などについて)窓口がもっとあれば良いなと思う。また、どのように相談をすすめたらよいかなどのアドバイスをもらいたい時にヒントになるようなリーフレットなどがあれば助かる。

④子どもを預けやすい環境の充実(病児・障がい児対応除く)(ファミリー・サポート・センター、放課後対策など)

1	現在ファミリーサポートセンターでサポーターをしています。良い活動ですが1ついつも気になっていることが利用者に「利用理由」を聞くこと。利用者とサポーターの間に立つNPOの方が聞き取りで行くのですが、まるで仕事や周りが納得する理由が必要なように聞こえます。実際、利用者の方に私が「ままやぱぱが休んだり、ランチしに行く時に使ってももちろんいいですよ～」とフォローすると、「そうなんですか!」とびっくりする方がほとんどです。気持ちの余裕をもてると子育ては違います。親も息抜きが気軽にできること、それは周りが責める空気がないことが結果、子供達の安心した生活になると思っています。
2	子どもが児童館をよく利用させて頂いております。放課後児童、子ども会にもお世話になりましたが色々な学区の子どもが集い、様々なお楽しみ行事があり、わりと自由に参加でき、年会費も安く利用しやすい児童館が子どもはとても気に入っています。これからもどちらのサービスも提供してもらえたら、子育て世代にとって心強いです。
3	通っていたこども園で毎年先生が退職し、人手不足で大変そうでした。保育士が安心して働ける仕組みを整えてほしいです。
4	放課後児童会は土日祝も開設を強く希望します。土日祝が仕事の人が多い事を知ってください。皆、土日祝が休みではありません。出席回数に応じて月額料金を調整してほしいです。今後の西市長に希望を託します。
5	児童会は長期休み中、8:00からしか預けられないのが、とても大変でやめました。せめて、7:45~にすればもっと利用できるのにと考えます。また先生も子どもを見ておらず、児童会内で集団いじめにもありました。学校が対応できない場であり、好き勝手している子どもがいるのも事実です。もっと監視する大人がいてほしいし、学校の先生も無関心でないでほしいです。
6	学校の児童会は部屋の中にずっといるだけで退屈そう。例えば、児童会も運動を取り入れてほしい。鬼ごっこ、ドッチボール等、あとよさこいクラブとかも良い。
7	放課後児童会を利用しているが、年末は29日から児童会が休みなので、そういう時にも子どもが利用できるサービスがあったら助かると思う時があります。年末年始でも仕事をしている父兄が多いと思うので、そういう時に対応できる場所があるといいなと思います。(職員の方の休みの関係で難しいとは思いますが…)
8	児童館での習いごとの先生方にも、“子どもの権利”周知徹底してください。自尊心を傷つけないでください。
9	児童館の施設について、夏は暑すぎ、冬は寒すぎる環境を対応してほしい。児童会支援員から「学校を借りている立場なので我慢してください。」と言われることが多いが学校と児童会の連携がない。学校は学校、児童会は児童会と言っているようでは、青森市の子育て支援は駄目である。学校の施設を自由に活用できる権限を児童会に与えるべきである。
10	児童会はコロナ前は利用していました。濃厚接触者になったことがあったり、利用児童が多く過密だったり、夏季などの長期休みのたびに利用の手続きが必要なことが次第に負担に思うようになり、利用しなくなりました。一度登録したら簡単に利用時期を決めて利用できたら良いなと思っていました。
11	1年生、4月は学校外だったので、移動は心配でした。6月～は学校内に開設され、安心でした。低学年のうちには学校内にあるといいと思いました。ただ、どちらもせまい。学校は教室なのでもちろんなのですが、夏休みなどは体育館や校庭を移動できたようです。校外は外で遊ぶこともできない環境で、2ヵ月しか利用してませんが、「行きたくない」と子どもが行っていました。年に数回しか使用していないような市民館などを利用できないのでしょうか？高齢者の集会にしか使用していないように思えるのですが…?
12	児童会の送迎もギリギリになる時があるので、19時頃まで開けていただけると冬の渋滞時も安心です。
13	冬期間の児童会の利用時間を遅くまで可能にしてほしい。

14	<p>子育て支援サービス(ファミサポ、児童会等)色々あるが、使い勝手が悪すぎる。少子高齢化で頼れる親兄弟がいらない傾向が強くなる中、フルタイムのひとり親では子育ては苦勞、負担が大きすぎ。しっかり所得のあるひとり親への支援をもう少し考えてほしい。</p> <p>例：ファミサポ→事前の調整が面倒すぎる。 児童会→長期休みの昼食対応大変、弁当配達くらいほしい。</p>
15	<p>住む地域によって、放課後児童会に行く場合と市民センター内の児童館に行く場合があるが、費用が有料と無料、預けられる年齢の差や時間、自由さも大きく違い、子どもの人数、年数をトータルして考えると地域差でとても大きな差があるように思う。一度市役所に話したことがあるが、とくに納得のいく内容の返答はなかったように思う。子どもを生み育てるのはどの家庭でも大変さは同じなのに、市の行政サービスにより市民が負担するものに差が出ることはおかしい。平等にしてほしいと思う。</p>
16	<p>放課後児童会について、時間厳守と言われ(それは理解できる)、子どもを預けられなかった。私はワンオペ育児で夫は単身赴任。サービス等や医療職等、時間に融通がつかないと預けられないのでは意味が無いと思う。(朝8時～その前に玄関先に子どもをおいたらすごくきつい言葉でののしられました。)</p>
17	<p>疲れるので無料でたまに預かってくれる所がほしいです。</p>
18	<p>仕事をしながら子育てをしているので、仕事が終わってから子どもの勉強(宿題)をさせるのがすごく大変で親子共に負担が大きい。学校が終わってからの勉強のサポートを気軽にいただける場があるとすごく助かると思う。(浪岡地区にも)</p>
19	<p>放課後児童会などせめて18:30～19:00までのお迎えに延長してほしい。16:00以降低学年など3時間～4時間家に一人だと心配であった。なるべく親が迎えに行けるようにはするが、冬季は渋滞があるとお迎えする時間に焦りを感じた。お迎えの時間が30分遅れるためだけにファミリーサポートを利用したこともあるので、お迎えの30分～1時間延長で助かる人もいるのではないかと。夏休み、冬休み、エアコンもなく、狭い児童館に預けるのが嫌で親に預けていた。低学年を保育園で慣れた先生に見てもらえる環境(給食あり)は親の働く状況ではありがたく、安心。(お金がかかっても)</p>
20	<p>難しいとは思いますが、長期休暇中の児童会で給食にしてもらえると嬉しいです。子どもからするとお弁当は嬉しいと思うのですが、仕事をするために預けているのに加え、大変だなと感じます。児童会の先生方には感謝していますが、一部の先生で指導内容が不明な部分はどこに相談をしたらいいのでしょうか?「海にお父さんとお母さんが落ちていたらどちらを助ける?」と聞かれるなど。</p>
21	<p>近年は共働きも多く、土日祝日関係なく仕事がある人もいるので、放課後児童会を保育所のように曜日関係なく、時間も就労に合わせたものにしてほしい。</p>
22	<p>放課後児童会の質の向上、子ども達が健全に遊び交流できる場の整備や機会の提供をお願いします。</p>
23	<p>放課後児童会が学校から離れているので利用しにくいです。学校内に作って欲しいです。</p>
24	<p>ファミサポの申し込みを、ネットから出来るようにしてほしい。もっと簡単に、子供を預けられるようにしてほしい。</p>
25	<p>児童会で縦割りになり下学年の男の子にいじめられたり、上級生の子にからかわれたり児童会に行きたくないと言いはじめました。児童会の先生方も全員に目が行き届かないため、こちらが悪くなったりとトラブルが多いです。縦割りで教育方針に疑問を感じます。</p>
26	<p>放課後児童会、朝8時からではなくて、7時45分からだと助かります。夏休み、冬休み、長期学校休暇のみ利用させていただいていますが、8時からで冬道だと、8時半の就業開始時間に間に合わない(冬道は、ショベルカーなどで危ないので、車送迎しているため)7時45分からだと嬉しいです。</p>
27	<p>学校が長期休暇の時の児童会への入会の仕方を簡単にできないでしょうか?長期休暇のたびに、会社に就労証明書を本社に送ることや、単身赴任している夫の分のことを考えると、とても苦勞しています。証明書も、勤務している所長の印鑑でも良いなど妥協していただくと助かります。</p>

28	費用負担が発生してもいいので、放課後児童会で昼食を出してもらえると親の朝の出勤前の時間が増えるので助かる。
29	このアンケートも、健常者用ですよね？そもそも、児童会等利用できないし。障害児も利用できるよになるなら、非常に助かります。
30	放課後児童会に通っていますが、職員等の対応に不満があります。職員が気分が怒ったり、子供がトイレに行くと騒ぐとの理由でトイレに行くのを禁止したり、子供同士のトラブルを放置したり、勉強を禁止したりといろいろな問題があります。職員はただ居ればいいというものではなく、適切に対応していただきたい。職員人選の際はある程度の資格や審査をしっかりとっていただきたい。このような対応では放課後児童会に通わせたくないの、退会も検討していますが、仕事との両立が難しい。青森市には放課後児童会に代わる施設等が無いので仕方なく通わせてる状況です。
31	児童会の開会時間の拡充。
<b>⑤子どもの活動機会の充実(遊び場・公園・屋内施設の整備など)</b>	
1	子どもたちが遊べるイベントを多くやってほしいです。特に冬は遊び場所(小学校高学年)がなく、ゲームばかりになってしまいます。
2	もっと遊び場(小学3~6年生)がほしい！なさすぎて困る。だからゲーム等ばかりするし、太る！いいかげんどうにかしてほしい。かわいそうだ。
3	子どもの遊び場等を見直してほしい。
4	小さくてもいいので、公園がもっとほしい。
5	季節や天候に左右されずに子供達がおもいきり遊べる場所や親達の交流の場が欲しいです。格差社会となってきたのでお金があれば解決ではなく、学びの場(例えば無料で寺子屋)運動の場(高額クラブチームではない組織)などがあり、開放的に参加できればと思います。
6	冬期室内で体を使う遊びができる所がまったくないので新しく作っているセントラルパークに「わくわく広場」の室内バージョンのような施設を作ってほしい(体育館は大人しか使いません)
7	子供達が遊ぶ公園の設備、雪が積もってもゲーム以外で遊べる施設を作ってほしい。
8	子供の学びの施設を増やしてほしい。(博物館や化学館、動物園など)
9	子供達が楽しく希望が持てる街づくりをして欲しい。青森にいても、都会の子と比べて遜色ない学習や体験ができる施設が欲しい。
10	公園が少ない。(千刈) 子供達がスポーツをするサンドームのようなグラウンド施設を他にも作ってほしい。市でやっているサッカースクールのように野球やバスケットボールなども作ってほしい。
11	学校の近くに遊び場、公園が欲しい。
12	子どもが大声を出して元気に外で遊べる場所が欲しい。団地内の公園で遊んでいても公園に近い団地の住民からうるさいと叱られ、ボールで遊んでいても、ボール遊びを禁止されました。注意され外で遊べなくなり、家でゲームで遊ぶ時間が増え、学校ではタブレットゲーム等の使用時間に気を付けるよう言われ、子どもたちは不満がいっぱいです。何やっても怒られる。と子どもたちが話しています。
13	子どもが遊べる場所を増やしてほしい。
14	冬期間、体を動かして遊べる施設が欲しい。
15	他県に比べると、遊び場に差を感じます。秋田県に行った時、とても子育てしやすいと思いました。青森にないものがたくさんありました。年配者が増加でお金がそちらへ行って、子どもは小さい公園で遊ぶしかないのだと思います。冬は特に行く所が少ない。他県の良い所(遊び場、教育)を青森にも入れてほしい。
16	浪岡地区にヒロロ3階にある公共の無料遊び場のような施設の設置のご検討をお願いします。理想は秋田、道の駅ふたついのキッズスペースです。浪岡は青森、弘前、五所川原と交通の便は良いけれども、遊び場が少ないです。青森まで行けば、無料遊び場があるのは分かっていますが…ひと山越えていかないといけない(特に冬場)のは、結構辛いです。ぜひ、ご検討を…。
17	子どもを冬でも自由に遊ばせることができる施設があるといいと思います。

18	ここ何年かで子育て支援が青森もだいぶ良くなっていると思います。これから産むお母さんは助かるでしょう。しかし子育ては幼児だけではないと私は思います。中学、高校での不登校問題、居場所作り。市民講座も小学まではあるのに、中学生の講座はありません。なぜでしょうか？小中、中高交流の市民講座など毎月あれば居場所作りにならないでしょうか？1つの考えとして要望します。部活も本当に強い子や環境が恵まれている子しかやりにくいのが実状です。幼児の遊び場も大切ですが、思春期の子達の過ごせる場も必要と考えます。
19	冬の間、遊び場が少ない。
20	冬に外で遊ぶ施設(無料)がないので困っている。市民センターは人気が高く予約が困難ではまなす会館などは冬になると料金が高くなるので頻繁には使えません。函館へ行った際、駅前に低価格で思いっきり体を動かして遊べる施設があり驚きました。聞くと行政が場所を安く貸してくれるため、低価格で運営できるそうです。青森にも空き店舗があるのでそういう所をうまく使って、魅力のある施設を使っていたきたいです。大胆なサービスを子ども達のためにお願いしたいです。
21	小学生以降も体を動かせる施設があれば良い。
22	一年を通して遊ぶ場所、学ぶ場所が限られているため、施設やイベントがあると助かる。
23	青森市は子どもが遊べる施設が少ないため、市外へ行くことが多い。冬でも遊ばせられるような場所があると嬉しい。
24	子どもの肥満率がワースト1位の青森県、塩分カットのだし活も大切ですが、幼児や小学生が遊べる室内の施設を作ってください。広くて清潔で子どもたちが喜ぶような遊具があると嬉しいです。(有料でもOK!)
25	冬や天気の悪い時に、室内で体を動かして遊べる場所がない。有料でもいいので、作ってほしい。
26	スポーツに関する施設が少ないと思う。
27	冬の間、特に遊びに行く所が少ない。
28	青森県内の他の市に比べると室内で遊ぶ場所がほぼ無い。少し料金を払ってもいいので、わくわくして遊べる場所を作ってほしい。冬は雪遊び以外で遊びに連れて行けるところが少ないので他市が羨ましいと思っている。
29	幼児の時は、色々と遊ばせる所もありますが、小学生が遊べる室内遊具がある所がありません。夏は暑くて外で遊べない、冬は大雪で雪遊びも危険、有料でよいのでそういう所があればよいと思います。
30	料金がかかってもいいから、もっと子どもが遊べる場所を増やしてほしい。室内でも外でも。室内があつたとしても場所が少なく人が密集している。外だと日かげが少なく休憩するところがない。特に夏場など。
31	郊外でも良いから、いつでも季節問わず遊べる施設があると助かります。遊園地、アスレチック等々、家族で楽しめるテーマパークとか。水族館位しかないのでは？と思っています。中、高生でも安全に楽しめるような所、屋内型スポーツ施設とかアミューズメントパーク。幼、小児でも楽しめる遊び場、(東京にある)プレイパークとかトンデミ平和島的な。こういう所が市内に1カ所でもあると、すんごく助かります。子どもたちの体力不足、ストレス発散なんとかしたいです。
32	子どもが自由にのびのび遊べる空間(施設)を作ってほしい(屋内で野球ができたり)
33	天気が悪い日に小学生が体を動かして遊べる公共施設があればいいと思う。市民体育館でバドミントンなどできるのは知っているが、あまり周知されていないと思う。内ズックなど持参しなければだめだったりするので、面倒になり利用しなかったりする。体を動かして遊べる施設があれば肥満などの予防にも繋がると思う。
34	子どもがもっと遊べる場所を増やしてほしい。(屋内)
35	冬は公園で遊べないので小学生が友達と遊べる遊具があるような屋内施設が身近に必要なだと思います。(泉川学区)
36	もっと子どもが楽しめる公園や施設を作ってほしい。

37	コロナがあり小2～小4の好奇心旺盛な時期にあまり外に出ることがなくなり、家にいる方が好きだとあまり出かけなくなりました。週末のイベントを小規模でもいいので、たくさんやってほしいと思います。今年はイベントがたくさんあったので週末でかけるようになりました。
38	キッズスペースは多少あると思いますが、小学生以上が遊ぶ所が少ないので、子どもたちがのびのびと遊べる所があればいいと思う。
39	サッカーや野球など冬場は活動、使用できる施設が少ない。サンドームを使いたくても予約が「いっぱい」状態。同じような施設がもっとあると運動不足が減っていいと思う。室内練習(体育館)になってしまわないようにしてほしい。
40	冬、雪遊びができる所が少ない。室内で遊べる所があれば良い。小学生(高学年も)
41	自然豊かな比較的整備された公園が多く、外で遊べるときは良い。冬など天気の悪い日に室内で遊べるところが本当に少ない。エルムや柏イオンまで行くこともある。増えてほしい。
42	子どもが遊べる場所が少なすぎる。小学生～中学生まで年齢に幅がある子どもをもつ(2人以上)親が、子どもを遊ばせるとなると、青森市では良く所がない。大型施設や1日中いても楽しく遊んでいられる場所を1日でも早く作ってほしい。
43	子どもと大人と一緒に体験できるイベント。(例)ケーキ作り体験、親子でサッカー体験等々、楽しめる行事が少なすぎる。もっと増やしてほしい。
44	子どもがケータイ、タブレットで家の中ですごく機会が減っていくように体を使って遊べる場所を増やしてほしい。他県に比べて、まったく少なく感じます。野球、サッカーなど冬の間使用できる場所が(青森市)サンドームしかなく、体を動かしたいのに使える回数が少ない。もっと冬の間、雪が降ってもスポーツできる室内(ドーム)環境を整えてほしいです。
45	子どもが親と一緒に様々な体験ができるような事が少ない。
46	子連れで遊べる場所を増やしてほしい。
47	出身が八戸市なのですが、青森市は小さい子どもを遊ばせる室内施設が多くて、助かるなあと思った記憶があります。
48	雨の日でも遠足で足を運べるような施設があれば知りたいです。
49	冬期間や悪天候でも体を動かせる屋内施設が欲しい
50	イベントを増やして欲しい。
51	元々遊び場が少ないし冬場はもっと遊べなくなります。室内イベントをたくさんやってほしい。
52	子供が遊べる場所が本当に少ないと思います。特に冬は。青森にもテーマパーク的なのがあればなあと思います。
53	冬場の室内で遊べるところはお金もかかる場所が多く、行政でやっている所は平日だけ等時間も制限されている。仕事をしていて、休みの時に子供と一緒にと考えているのに、行くのにも車でと限られる場所だったり。スキー場やスケート場も思ったほどお金がかかります。子供にせがまれても、なかなか頻繁に行けない。市民プールと新運動公園のプールも料金が大幅に違うので、安い場所を選びがち。子供が過ごしやすい街にして欲しい。
54	子供達の遊べる場所が少ないこと。特に冬場は少ないと思います。
55	いろんな体験が出来るようにしてほしい。
56	八戸市のこどもの国のような市営の遊園地を、また、アスレチック施設やキャンプ場を作って頂きたいです。
57	子供たちが遊べる場所(夏も冬も)
58	子供の遊び場が少ない。特に冬は雪が降ると公園でも遊べなくなり、子供用の屋内施設も商業施設も少ないので家に居るしかなく引きこもってしまう。
59	冬に思い切り身体を動かして遊べる屋内施設を作って欲しい。特に、小学生以上だと、幼児と比べて急に遊べる施設が少なくなるので困っています。
60	子供の遊ぶ場所が少なくいと感じます。八戸公園みたいな場所が青森市にも有ればいいなと思います。

61	盛岡市にあるような、子供が遊べる温水プールが欲しいです。
62	青森ではスポーツ大会や高学年用の体育館ばかり建築されていますが、子供達が室内で遊べる遊具施設などが少なすぎます。ショッピングモール内に行くか市外まで足を伸ばさなければ遊べない。特別手当などをいただくのは有り難いですが、もっと子供達が過ごしやすく遊びながら学びを得られる施設や放課後児童会のような施設の充実、企業などと協力をし学校まで迎えに来てくれるような習い事統合施設など子供達の未来に繋がるような施設建設が進むよう願います。
63	乳幼児だけでなく、多年齢の子どもの居場所作りを、よりサポートしてほしい。
64	冬は雪が多くて出かけられる場所が少ないので、屋外でも除雪した広いスペースなどあればなにかしら遊べると思います。
65	子どもの冬の遊び場がとても少ない。
66	子供が冬でも運動や様々な文化活動ができいつでも利用できる施設を各地区毎に欲しい。運動施設は少なく予約など面倒な事が多いと思う。
67	今はもう必要がない年齢になりましたが、子どもが遊べる場所、特に冬場の室内はなかなかなくて、苦労しました。
68	未就学児の遊び場は増えましたが小学生の遊び場が少ないような気がします。運動させたいですが、市内の体育館はいつも予約で借れずにいます。また運動教室のお知らせはありますが、土日仕事なので参加が難しいです。子供が気軽に運動できるような場所がもっと増えたらいいと思います。公園も最近は遊具も少なく騒音の問題もあり伸び伸び遊べていない印象があります。無料、または安い料金で平日土日開放しているような体育館や遊び場があればいろんなスポーツに触れる機会がありいいなと思います。わたしが子供の時ほど安全管理の考えが変わり難しいところもあるかもしれませんが、高くない金額で好きな時に運動できるのであれば利用する人もいると思います。
69	冬季間、雨天時、子供達が走り回って遊べる場所を作ってほしい。スポーツクラブに所属しているが、練習場所や試合の場所を確保するのが大変、室内ドームを増やしてほしい。
70	冬期間に室内で体を動かす場所が少なく、子供の肥満にも影響していると思う。
71	子供の遊び場が少ないので、市で管理する広い遊び場。
72	古くからある公園は、大木や雑草で鬱蒼とした雰囲気になっている。トイレ等の衛生面も含め、子どもが安全に楽しく遊べるように、キレイで明るい公園にしてほしい。小さい子も高学年の子も、遊べる場所(屋内も屋外も)が少ないと思います。
73	子供達が冬季に体を動かせる室内施設が少ないと思う。運動施設が県内の他の市町村に比べて少なく利用したい団体の争奪戦となっている状況をなんとかしてほしい。体育館も利用できるスポーツに制限があったりするので、制限のないよう改善してほしい。人工芝の室内競技場が青森市には無いので是非作って欲しい。
74	とにかく遊ぶ場所がない。おんなじようなゲームセンターが何個かあるくらい。遊園地、身体を動かせるところ(アスレチック的で冬も遊べてかつ、サンドームみたいに寒くないところ)、騒いで遊ぶようなプールがあるといい。健康ランドのプール復活してほしい。なので休みになにがいいかわからない。いつもゲームセンターになっちゃう。買い物をするとこはだいぶ多くなってきたが、遊ぶところ、となると全然足りない気がする。
<b>⑥子育てしながら働き続けるための支援について(有給休暇・育児休暇を取得しやすい環境など)</b>	
1	労働時間が短くなることでもっと子どもとの時間が確保できると思います。
2	子育てをしやすい職場環境を整えてほしい。
3	子供のために短時間労働でも生活していけるようになればと思う。急な病気の時、休めるようになれば良い。共働きでないと、生活、子育てが厳しいと感じる。
4	女性が子育てしやすいように、賃金を上げて労働時間が短くなるようにしてほしい。又は、共働きしなくても子育てができるよう男性の給料が高くなると嬉しい。3人目を希望するが、経済的理由で難しい方が多いと思います。

5	小学生からの時短勤務が可能になると良い。保育園に通う時は、6時までOKだが、小学校からは行き帰りもある、児童会も3年生になるとあまり行きたがらない。1人で家にいるのも不安。仕事から戻るまで不安な日が続く。子どもにも行きたくないと言われるとどうすればいいか。
6	行政もだが、勤務先の理解を得られないと子育ては色々大変だと思う。子だけではなく育てる側もメンタルやられてしまう…。私はひとり親なので、子どもに何かあった際、仕事休めない。子どもの預けない他、預けられる支援サービスがあっても事前登録必要だったり、金額が高かったりで利用したことはない。結局働かなければならないので、理解してくれる企業が増えて欲しいと思う。行政サービスはもっと分かりやすいようにアピールが必要だと思う。
7	青森市子どもの権利条例を職場にも理解してほしい。精神障害児が他の児童と違い子育ての大変さや、親の愛情不足により症状の悪化や不安や寂しさがある。母子家庭だからコロナで休みがちになった時など職場から「みんなと同じように仕事ができないなら、潔く辞めればいいのに。」など心療内科に通院しなければならないほどのパワハラが続いている。現在、子どもとの休みはほぼなく、遊んであげたり、勉強を見てあげたりできていない。
8	子どもが病気などで学校を休む際、親が仕事を休んだり早退しやすい環境になってほしい。
9	経済も厳しく、社会も子どもの病欠には厳しい。
10	職場が民間企業だったので1年などの育休取れず、3ヵ月で復帰して子どもと関わる時間が少なかったと思います。職場の上司が男性でとても子育ての理解がなくて大変でした。子どもが小学校に上がるタイミングで仕事の時間短縮の相談をしましたが、役職がついているのに無責任だと言われました。子どもと一緒にいる時間を作りたいのに、職場の理解がないと子育てや子どもが欲しいと思っても難しいと思いました。その後、時間短縮の希望が通りましたが、給料を2割くらい減らされました。今後、理解のある職場が増え、子育てがしやすい環境になればいいなと思います。
11	働きやすい職場環境の整備
12	40代以降にもなるとなかなか正規の職も得られず…。ミドル世代の就職支援等そういったものも子育て支援の1つだと思っています。
13	仕事と子育ての両立が出来るようになって欲しい。急の休みや早退、勤務時間短縮が当たり前が取れるシステム作りをして欲しい。私の場合は、旦那が単身赴任のため、ワンオペ中です。以前、正社員として働いていたが、早退や急の休みを取らざるを得ない際、周囲の目が気になったり、「子どもがいるから休みが取れていいですね」と言われた事があり、申し訳ない気持ちが強くなり、辞職する事にしました。やり続けたい仕事でしたが、急の早退や休みは周囲への負担が大きくなる事がよく分かっていたので、子育て中は休暇や早退する事が当たり前というシステム作りを実現し、家庭と仕事の両立が出来たら辞職する事なく、気兼ねなく働き続けられるのではと思います。
14	出産時に休みや給付も大事だが、働いている事業所に対して代替りの従業員を雇うための費用の助成をしてほしい。人手不足を解消できて、気兼ねなく休みに入ることができる。
15	子の看護休暇で、幼児までを小学校低学年位まででもあればいいと思う。
16	体調が悪いのに無理に保育園に出したりせず、早目に(平日の日中のうちに)受診したり、休みを取るなどしやすい職場環境を整えるのも大事だと思う。
17	仕事も簡単に休むこともできず、職場でも肩身が狭い。出社している人へのしわ寄せに対する手当てがあればよい。
<b>⑦教育視点での子育て支援(学校生活、部活動・クラブ活動、教育費等の無償化など)</b>	
1	給食費無料、学校生活にかかる費用(行事、ジャージ、絵の具など全て)を無料化した方が、平等で不平不満がなくなると思う。
2	教育現場における福祉教育を充実させてもらいたい。
3	不登校傾向の子供の教育機会(機関)が充実していれば助かります。
4	高校・大学の授業料の無償化

5	部活動について。必ず学校で実施してほしい、外部に委託しないでほしいということでは全くなく、共働き家庭の子どもが学校外部でのクラブに所属した場合の移動が困難な事、15時、16時台に学校～クラブへの送迎はどう考えても無理がある。本当はやりたいのにできない、やらせてあげられない現状がある。外部委託は悪くないが現状把握と活動施設の充実と、全ての子どもが活動できる体制を整えてから実行にうつしてほしいと思った。
6	ジェンダー差別を学校がしていること、植えつけていることに向き合してほしい。「男の子には髪は短く！」といまだに言う先生がいる事実。その中で9年も教育されれば、いくら名簿が男女混合でもジェンダー差別は標準になってしまう。
7	学校外での学ぶ場所や習いごと等の格差があります。また学校の部活動について、クラブチームに移行することにより、親の見守り当番、送迎等、親への負担が大きくなり、部活動に参加がむずかしくなると思います。クラブチームの活動開始時間が遅い等も子供の睡眠不足の原因になります。
8	高等学校の進学費用が高く感じる。ここらへんをもっと改善されないと少子化につながると思うので、改善をお願いしたい。東京都の政策のようになれば助かります。
9	家から学校までの距離が遠い子の自転車通学の許可。
10	教育費にお金がかからないようにしてほしい。産んで大学までの期間は長い。先を考えると産めない。
11	バス料金が低い。(高校時)
12	塾に行かなくてもいいようにYouTubeで本日の授業を流してほしい。中学生は特にそう思う。急に内容が難しくなるうえ、どんどん進んでしまうため、うちの子はついていけない。親もゆっくり話す時間ない。
13	あまり関係ない事かもしれませんが、小2の息子が通う小学校でクラブ化したバスケのクラブについて…教育上相応しくない大人が「指導者」として入り込んでしまい、クラブ化について詳しくない保護者をうまく取り込み、自分のクラブとして乗っ取ろうとしている人がいて、大変な問題だと危機感を抱いています。それに気づき、意見した保護者は何人か辞めさせられ、本当は子どもが通う小学校でミニバスをやりたいのに、それができない状況にあります。子どもたちの声も届かず、子どもの人権なんてあったもんじゃない。とにかく異常な状況なので、部活動のクラブ化を見直して、安心して子どもとスポーツを楽しめる環境を望みます。
14	給食費の無償化もありがたいのですが、子どもたちからあまり美味しくないと聞きます。自分が小学生の頃よりメニューが豊富だなあと献立を見ていましたが、もう少し味付けを工夫してもらえたらうれしいです。
15	不登校の子どもが増えている実態に教育が変化できていない気がします。今あるものを“より良く”ではなく、大きな見直し、転換期であると捉えています。子どもの教育、居場所づくり、子どもや大人の心の成長を促すサポートがあれば誰も取り残されない社会に近づくのではと思います。現社会に適応できない人を支えつつ、社会がより良く変容していくように対策してほしいと思います。
16	他県に比べると、教育に差を感じます。他県の良い所を青森にも入れてほしい。
17	給食費が無料になったことはとても助かっています。年齢が進んだ子ども(中学生高校生)も市営バス無料化を検討してほしい。通学の親の送迎など負担を減らしてほしい(特に冬期)
18	親が教育を受けさせない場合の対応、モンスターペアレンツへの対応。
19	小学校、中学校の部活動からクラブ化に伴い、中学校に希望部活(種目)がないことで、これまで続けてきた競技ができない状態にある。小学校はクラブとしてバスケをやる→中学校はバスケ部なし、クラブチームもなし→バスケができないので他のスポーツに変える必要あり。兄はクラブチームに入るも、弟はクラブチームの定員オーバーにより入会できず。経済的に車1台のため、他チーム、他スポーツに入ることが不可。クラブチームは原則送迎は全て各家庭での負担のため。送迎ができない。クラブ新設のスピード感を持ってほしい。子どもが諦めることになっている。

20	学級担任に問題があっても、教育委員会では対応できなかった。ボイスレコーダーで暴言を録音するしかないのでしょうか。スクールロイヤーへ電話したが、個人がかける場所ではないと言われた。
21	青森は雪が多いので、冬期間の光熱費がかなりかかります。そのため、子どもに十分な習いごとにかかるお金がありません。教育にかかるお金を少しでも補助していただきたいです。
22	学校ジャージを市から出してほしい。高すぎます。
23	給食費無償化
24	switch等のゲームが増えているので、もっと本の魅力を広げてほしい。勉強よりも、お金の管理の大切さや株の簡単な仕組みをFPを招いて勉強会を開いてほしい。
25	学校が終わってクラブ活動の間、学校(教室)を使わせてほしい。部活→クラブになり、学校との連携がスムーズではない。
26	小、中一貫教育を取り入れるのであれば、学区割りを考え直してほしいです。中学校へ進学するときに、たった1人か2人だけみんなと違う中学校というのはあまりにひどいかな…と思います。兄がいるからとか、他人の住所を借りてまで学区を変更をしている人も多く、それが叶わぬ一部の児童だけ一貫教育を受けられないのはどうかと思います。学区の見直しを希望します！
27	小学校の先生が足りない！クラス(特に1年生)常に補助員をいれて！！
28	子どもが多い家庭だけに支援(大学無償化など)するのではなく、すべての子どもを平等にしてほしい。ひとり親家庭の子どもは大学・専門学校に通わせることも厳しいと思う。子どもはどんどん大きくなるとお金がかかるのに、支援が少なくなる国のやり方が変わってほしいです。
29	PCを用いた学習をしておきながら、手で書くことが大事等というような矛盾したことを言わないでほしい。睡眠時間をきちんととりましようと言いつつ、習い事や自由時間を考慮に入れないような宿題の出し方をしないでほしい。PCが重く、置き勉が可能でもかなり負担、体のゆがみが心配。オンライン授業以降、偏頭痛を起しやすくなったので、PC活用のデメリットもきちんと把握、対応して欲しい。
30	バス代も学生のうちは、無料にしてほしい。
31	給料の割に教育費がかかりすぎる。冬にあるスキー学習も良いと思うけれども、5回しかないのにスキー学習の為ににかかる費用も負担に感じる。スケート学習ならもっと安く済むのではないか。このようなアンケート調査があるのはとても良いと思う。
32	我が家では子どもが3人いるので、経済的な負担が大きいと感じています。 ①全国で最も高い制服代を安くしてほしい。制服だけで6万円です。指定ジャージは小・中・高どこでも一式2万円を超えて、高すぎます。 ②小学校1年生に配布されるものを減らしてほしい。無駄があります。 算数セット…子どもに尋ねるとほとんど使っていない。それなのに子どもにそれぞれ渡され無駄になる上、数え棒など一つ一つに名前を書かなければならず、手間がかかります。 クーピー・クレヨン・粘土…家にあるもの、上の子が使ったものを持って行かせたい。 ③卒業アルバムについて、金沢小学校はアルバム13,200円、DVD3,800円、記念写真1,000円を支払わなければならない、不要なDVDも買わされます。アルバムが高く、DVDは不要なのですが、どこに意見を言うべきなのか分かりません。 ④修学旅行代金が高いです。高校は13万もの代金で、中学校の修学旅行代金も高いと思っていたので驚きました。子どものうちから贅沢をさせないつもりで日々教育しているので、もっと質素にしてください。
33	給食費無償の継続をお願いします。
34	義務教育期間を高校卒業まで延長されるといいな…と思います。また、学校生活で必ず必要となる、ランドセル、ジャージ、制服、その他授業で必要となる物品は初回のみ支給となると大変助かると思います。

35	ここ近年の子育て支援の充実は、私が息子を生んだ十年前よりはるかに良くなっていると思います。息子も中学校入学を控え、これから本当に必要になってくるのは「お金」です。誰の協力も得られず、私も含め、子育てのために仕事を辞めざるをえなかったお母さんも周りには多く、これからの教育費増大に不安しかありません。
36	部活動のクラブチーム移行に関して、送迎の難しい(或いは会費を払う)保護者も多いと思うので、指導者(コーチ)が学校の設備を利用して(学校へ来て)指導できる形が望ましい。自治体でコーチを雇うことはできないものか。指導者不足も課題だと思う。時間的、金銭的にクラブチーム移行は保護者に負担がかかってくる。保護者の都合で子どもの選択権・可能性がそがれることは残念である。
37	昔のように学校での部活動がなくなり、スポーツをしたい人はクラブへ通います。クラブへ通うには、月謝もそうですが、何より送迎です。部活の良かったところは、学校だったので自分で行けます。しかしクラブは近くにあるとは限らず、すべて親が送っていかないといけません。社員で働いている夫婦にどこにそんな平日の時間、15:00や16:00に時間とれますか？それがあただけで、クラブなどに加入するのを諦めます。お金に余裕がないとクラブにも行けません。昔のように、とは言いませんが、学校での部活動を希望します。教員のために部活動はなくなりましたが、子ども達のためにはなっていないです。お金がない家庭でも参加できていた部活。みんなで頑張ることに子ども達にはお金持ちでもそうでない子にも差はなく、一生懸命取組んでいました。それが心の成長にもつながると思います。
38	子どもが多くなればなるほど、教育にかかるお金が大きくなるので支援していただければとても助かる。ない場合は、多かれ少なかれ希望の進路に行けないこともあるのではと思う。
39	造道小学校の校庭の遊具を増やして下さい。
40	近年暑すぎる事も多いのでスクールバスを導入してほしい
41	高校の無償化、給食提供などあればいいと思う。
42	給食費負担、ありがとうございます！なかなかお礼をお伝えする機会がなかったので、この場を借りてお礼させていただきます。
43	学費免除、中学高校の制服レンタル制度、遠足などのバス代負担、修学旅行費用の一部負担、不登校児童生徒の勉強が出来る環境を整備する。大半は子供を育てる親の収入が少ないのが現状です、ライフラインに関する費用の一部負担などもやってほしい。
44	母子家庭で扶養世帯なのですが、就学支援金が支給分では賄えてないないのが納得いかないので、どうかしてほしい。
45	経済的に塾や習い事に通わせられない家庭への支援。
46	教育費無料など子供にかかる物は無料にしていだけるなら助かります。
47	子供達は給食がおいしくて大好きだと言っています。郷土料理や季節感のあるメニューなど家では作れないことが多いので、親としてもとてもありがたく思っています。感謝の気持ちを伝えたくてこちらに記入させていただきました。
48	小学校の給食費を無料にして頂きありがとうございました。大変助かりました。ただ、まだ教材費や積立金などの金銭的な負担があり、負担に感じる場合があります。どういう負担があるか実際に調査して洗い出して頂き、負担軽減の議論をして頂けないでしょうか。また、現金を子どもに持たせて小学校に提出しているのですが、落したり失くしたりする不安がありますので、少額でも電子マネーでも払えるようにして頂けないでしょうか。
49	学校の教材費を無償化にして欲しい。
50	学校給食の充実。

51	生活保護世帯やひとり親世帯、非課税世帯だけではなく、入学や進級する春に支援金があればいいと思う。体操着、制服、通学カバン、スキーセット、スキーウェア、書道道具、絵の具、など、子供の数が減り綺麗な状態で残っているので各学校で回収し、再販などもっと大規模で(バザーなど開催はあるが)行なったらどうか。もしくは生活保護世帯や非課税世帯に現金ではなく、そういった物品での支援を積極的に行うなどどうか。冬の登下校など昔とは違い、ドカ雪で雪害など危険があるため、学校バスなどあれば便利ではないか。登校に40分～1時間以上かかる子もいます。
52	もし、可能なら高校以降の進学の際も教育費を幾分かでも負担してもらえれば、子どもの将来の選択肢は増えるかと思います。家庭の経済状況で我慢させるのは親として辛いです。
53	小学校の他にちゃんと子供が学べる場所、安心できる場所が増えるといいなと思います。小学校では子供の権利、個性を大事にしながらも、みんなと違ったり同じことをしてないと、努力してないもつと努力が必要と思われる。大して怒られることでもないのに執拗に怒られてる子、それを見てるがわの子にとっても想像以上にストレスになっていることを先生達は気付いてないのかもしれないです。子供の為の教育というより、教師がやりやすいように子供達を押さえつけてる気がします。それで学校に行けなくなる子も増えてるように思います。子供が安心して自ら学びたいと思える気軽に行ける場所があればいいなと思います。
54	乳幼児～小学生までの支援だけではなく、中学、高校、大学など、就職できるまでの支援を希望します。一時的な緊急支援金よりも、所得制限を設けない学費免除など、進学等を本人が希望したときに、お金がないことを理由に諦めさせる可能性があるうちは、子供を増やしたくても親としては諦めてしまいます。
55	女性の教職者を増やしてほしい。
56	保護者は働かざるを得ない政策をどんどん作りながらも、保護者の負担は増える一方で、保護者の負担を減らしてほしい。主に、部活動の廃止をするなら、親主体にして負担を増やすのではなく、部活動担当の人を雇えばいいと思う。スポーツをやりたいけど親の負担が多すぎる為、親にダメと言われて出来ない子達も沢山いる。その中に将来の有望な選手も隠れているかもしれないのに。部活動のクラブ化は保護者に任せるのではなくもう少し、考えてからクラブ化にして欲しい。
57	体罰禁止というが、学校の授業がリモートを聞いているとうるさくて授業になっていない。体罰禁止はわかるが先生も疲れるし真面目に聞いている生徒にもよくないので、静かにさせる説得方法を伝授していかないとダメだと思う。
58	給食無料が今後も続くことを望みます。
59	教育費無償化になれば子どもを産み育てようとする人が増えると思います。若い人が希望を持って働ける企業を青森市にも誘致して欲しいです。
60	学校の先生が余裕を持って仕事ができる環境作ってほしい。
61	学校からのお手紙や連絡がメールやLINEなどになってほしい。
62	学校指定のジャージを無くしてほしい。年に数回しか着る機会がなく無駄な出費(質が悪いので日頃から着ようとしないう)中高の制服、洗いやすく安価なものに変えてほしい。スキー授業のために毎年スキーをレンタルしているが負担に感じる。
63	周囲に子育て世代が多いためか、年齢関係なく地域のたくさんの方々に見守ってもらっていると感じています。一方で、子育てに直接関することではありませんが、子供が通っている小学校では、若手職員に対して丁寧な指導がされていないように感じる場合があります。新採用が担任のクラスが荒れたまま改善されなかったり、親のいる前でベテラン教師が若手教師を叱責したりと、どのように若手教師を育てているのか不安に思う場合があります。若手教師に未熟な面があるのは当たり前ですので、各家庭が先生に協力できることがあれば協力したいですし、学校全体が若手教師に寄り添い育てる環境が生まれればいいなと思います。

64	将来の社会が見通せない中、親としての教育や進路支援のあり方に不安を感じる保護者の声を多く聞きます。青森市の小学校・中学校での生き方の模索や進路支援についての施策や事業、民間の活動が充実することを期待いたします。
65	残念ながら、我が子2人から聞く学校での現実には、驚く事が非常に多いです。子供達にとって、先生という大人の存在が“必ずしも好ましくない事もある”と感じます。元看護師で専業主婦の私としては、これからは若者の心の成長の妨げになる言動を行う先生が減ることが、とても重要だと思います。正直、先生の言動で子供が怖い思いをしたり、嫌だった出来事を聞いてあげる作業も、大きな子育ての負担になっています。この負担が軽くなれば、私は看護師として復帰していたかもしれません。子供達の手の届く範囲に、自分の日常において支配的ではない大人に目を掛けてもらえるチャンスがたくさんあれば、地域の大人(親も含む)からの愛は感じなくても、青森市という大きな社会からの愛を感じ取り、感謝の心が育まれ、「これからの青森は私達が守る！」と思ってくれる気がしています。そこで私は、学校教育の場に防犯カメラの設置、少なくとも音声の録音を希望します。また、先生方の配属先を決める際は、親の意見も参考にさせていただきたいです。親も子供と一緒にこの学校や地域に必要だと感じる先生を考える事も義務教育における親の務めや責任であると感じます。親身になって子ども達と接して下さる先生方もたくさんいるので、親としてその方々の力になりたいです。
66	小学校のクラブ化が進んだことで、学区外のクラブで活動することになった。しかし、中学はクラブ化が進んでいないことで、今の仲間、チームでの活動ができなくなる。育成の点から小さな頃から、方針にあったクラブへ所属してきたのに、中学でその道を阻むことになるのが残念でならない。青森市のスポーツ活動をみたときに、小学までは県外にもひけをとらないが中学になるとレベルが下がっているように感じるのは、指導者不足、それなのにクラブへ移行できず、頑張りたい子が頑張れる環境がないからだと感じる。育成の観点で改善策を検討いただきたい。物価高で将来の学費が心配。
67	母子家庭支援を現代に見合った内容にしてほしい。就学時援助に給食費無料があるが対象でない方も無料なので、対象の事を考え現在の社会に適している内容にしてほしい。学校でパソコンを使うのが必須で持ち帰るがWi-Fi環境がない為家庭で使用出来ず学習差別を感じる
68	給食費控除は、大変助かっています。
69	高校の授業料無料化。高校の給食化。
70	五教科だけでなく、子供の得意なことをとことん伸ばす教育。
71	子供一人でも大学の授業料の無償化希望。
72	現在高2の女の子が対象児(小5男子)の姉にいます。学校にはしょっちゅう行きたくないと言いながらも完全に不登校ではなく、送り迎えで学校には通えている状態です。対人関係を築くことに苦手さを抱えています。公的支援が受けられるわけでもなく、病院でも特に問題ないですと言われ、どのように本人に自信をつけて社会に送り出したらいいのか悩んでいます。公的相談窓口が分かりません。
73	いじめで悩んでいた時、市の窓口で相談した時教育委員会の方がすぐに視察に来て下さいましたが、その後あまり改善には至っていません。善処よろしくお願いします。
<b>⑧ 予防接種について(助成制度など)</b>	
1	インフルエンザのワクチン負担が大きいので1回1000円～2000円で受けれるように市か県で助成してほしいです！！
2	予防接種、インフルエンザの助成制度がもっと充実すれば良いと思います。
<b>⑨ 病児対応施策等の充実(小児科などの受診、病児一時保育など)</b>	
1	子ども達が保育園に通っていた頃(1～6歳まで)、急に体調を崩して(発熱など)保育園から迎えに来てほしいとしょっちゅう連絡が来ていた時期がありました。夫や両親の力も借りて何とか乗り切りましたが、病児保育所がもっと使いやすければ(当日も利用できる、場所が分かりやすい、駐車場がある)使っていたと思いますし、ストレスも少しは減らすことができたのかなと思います。

2	小児科がなくてすごく不便と感じます。行っても予約制で診てもらえないし高齢の先生も多いので大変だろうなとは思いますが、こちらも急に具合が悪くなるので診てもらえなかった時の不安といったらたまらないものです。何件もたらい回しの後、結局診てもらえず、家で様子見…ということが何度かありました。小児科、耳鼻科、皮膚科、足りてないと思います。
3	病院(夜間)の対応の充実をもっと多くしてほしい。
4	子育て支援サービス(病児保育等)色々あるが、使い勝手が悪すぎる。少子高齢化で頼れる親兄弟がいない傾向が強くなる中、フルタイムのひとり親では子育ては苦勞、負担が大きすぎ。しっかり所得のあるひとり親への支援をもう少し考えてほしい。 例:病児保育→感染症だと使えない。
5	小児科がもっと、充実すると良いと思います。
6	小学校(低学年)が利用できる病児保育の施設一覧など、分かりやすく教えてほしいです。保育園の時は、どこにそういう施設があるか分かりやすかったが、小学校に入った途端、そういったサービスを受けにくくなったと感じます。
7	利用しやすい病児保育を設けてほしい。年で制限しないでほしい。
8	小児科医が少ないのもあるが、小児科が少ない。コロナ流行により急遽の受診ができない、時間が大幅にかかることが増えた。
9	児童専門の精神科の充実。
10	病児保育が充実すれば仕事との両立がしやすくなると思います。今すぐ迎えに行けない、急に休めないなど、数時間だけでも対応してくれれば助かる状況もあるので。
11	子供が保育園に通っていた時は、熱を出した時に仕事が休めない時があり「病児一時保育」を利用しようかと検討しましたが、定員数がとても少なく預けられない。病児をいきなり知らない場所と知らない人を預けるのに抵抗があります。預け先が無く、仕事を辞める人もいます。経済的に余裕があれば仕事を辞めてもいいと思いますが、そういう施設やサービスを増やしていかないと、2人目・3人目を産み育てる自信はありません。
<b>⑩ 障がい児対応施策等の充実</b>	
1	現在、小学校の特別支援学級に通っています。担任や通級時の教師と合わず、何度も話し合いをしましたが、教師が不足しているため対応困難な事が多く本人が希望することができません。定型クラスの子達と同じことをしたくてもできないと、友達ができないと泣いています。実際、自閉スペクトラムで他人とうまくできない部分はありますが、このままでは不安です。関わり方でかなり本人は落ち着いて過ごすこともあります。教師不足もありますが、先生方の勉強不足も感じています。大丈夫な学校生活を送らせたいです。自分が病気になったらこの子はどうなるんだろう…と不安です。家族の理解も得られません。どうしていいか分からないし、子どもにも優しくできません。
2	発達障害児(特にグレーな子)について大変だった頃、一番冷たく接されたのが行政だった。(特に児相)むしろ、警察署の方が優しく親身に助けてくれた。そういう意味では機能していないと思う。障がい児はもちろん、その親のレスパイトや親を支援する制度がなくては親は潰れてしまう。
3	このアンケートで障がい児に関する項目がなかったのが残念です。
4	・老人のショートステイがあるように、障害のある子供のショートステイもあれば助かるし、親の心的負担が軽減すると思う。 ・障害児の多さに対して入所施設が少なすぎる。
5	発達障害向けの小学校や、学ぶ場所を充実して欲しい。現在は市内に通級する小学校が自宅付近になく通いたくても通えない。
6	特別支援学級の児童数が多い小学校の情緒クラスに通っていますが、特別支援学校教諭資格を持った先生が支援クラス全体でも1-2人(担任6人中)であり、少ないと感じました。一方先生方はとても手間がかかる息子をよく指導してくださっており、息子も日々楽しく学校に行っています。息子は恵まれた環境にいるなと思っています。支援クラスは本当に手間がかかりますので、担任の先生その他、支援(加配)の先生がもっと増えたらいいなと思っています。

7	支援級の充実。
8	特性のある子供の支援を社会全体で、支援してほしいです。今はまだまだ支援不足で、親子共に困る事が多いです。小学校の特別支援学級の先生の増員と専門的知識がある方の配置を望みます。支援学級の先生は知識がない方も多く、先生1人で何人もの生徒を見るのは、とても大変です。
9	今、普通学級から特別支援学級への移動を考え、検査の申請を出しています。早くても検査は来春、移動は夏頃になると学級担任から聞きました。スクールカウンセラー相談の予約も混んでいて、2月になります。悩んでいる今、迅速な対応が受けられるような人員の確保と、システムの確立をお願いしたいです。
<b>⑪子どもの安全対策(防犯、道路など)</b>	
1	少子高齢化・過疎化により、地域での子育て、子どもを見守る大人の目が減少している為、登下校の不安や外遊びの不安が多い。子育て世帯が青森市に移住したくなるようなサービスや支援を増やしていかなければ子どもは増えないと思う。地域交流、見守り等を見直してほしい。
2	通学路周辺の除雪、又はロードヒーティング可
3	冬の期間、歩道の雪がひどく、歩く場所がない状態で車道を歩いて危ないのが心配になります。不審者が多く、何度か不審者に遭い、登下校中不安です。警察も一時的にしかパトロールしてくれないので何とかしてほしい。
4	高校生の自転車のマナーが悪い。イヤホンを付けて自転車に乗っている。横に並んで乗っている。信号を守らない。小学校の通学路で多々見かけます。
5	冬は通学路が狭く、子どもだけで歩かせるのがとても危険です。歩道の整備をお願いします。
6	通学路の整備(雪道や雑草が道端にまで出て危なく思われる所がある為、車道と歩道の距離など)
7	通学路で危険な場所があって報告はしているが、なかなか改善してもらえず特に冬は見ているハラハラしてしまう。
8	冬期間の通学路の除雪が届いていない。
9	通学路の雪、歩道や道路の除雪排雪をしっかりやってほしい。
10	安全に小学校に通うために通学路の雪かきをできればやって頂けないでしょうか。人力では限界があり、正直危ない上にしんどいです。どうぞよろしくお願いします。
11	すでに十分なお支援をいただいております。大変感謝しております。登校時にはボランティアの方に天気が悪くても交差点で交通安全指導いただいております。保護者としてはとても安心できます。ただ、個人的な意見ですが、交通マナーは非常に悪いと思っております。日々不安を抱えているのも事実です。
12	西市長へ一言言いたい。学校(小・中・高)のすべて、未だに誰でも出入りできる環境となっている。全国各地で数年前も含め以前に傷害事件が発生しているのにも関わらず、身元確認は元より、玄関等に鍵もしない学校が多く拝見される。(実際に自分が用事があった小学校に行った時、すんなりと出入りできました。誰も見ていないし、身元確認すらされませんでした。これが犯罪者だとしたら余裕で事件を起こすことが可能ですよ。)しっかりと子どもたちの安全を守る環境を作ってもらいたい。学力が低いとか以前の問題です。命が一番重要で最優先だと思いますよ。
<b>⑫その他市政への意見・苦情等</b>	
1	窓口をまとめてほしい。アウガは車が停めにくく、小さい子連れでは行きにくいと思うので改善してほしい。

2	人が多く、青森でもビジネスチャンスがあると思える街になって欲しい。今まで色々な努力をなさってきていると思っております。大変感謝しております。しかし、時代の流れ等でおそらく思う様には進んでいないと思われます。青森県民は、子育て等にお金も時間も使う県民性だと思いますので、そこに力を入れ、施設等を建てていって、県外に行かなくてもこの地でずっと生活できる、そんな街になって欲しいです。
3	今後子育てしやすい環境づくりに努めていただきたい。
4	考えることは日々たくさんありますが…ただ生んで終わりではなく、そこから一人前になるまでを考えて物事を発言してほしいと思います。
5	成年までの手厚い補助を！
6	特に何も期待していません。
7	支援する方々の支援(人員など含め)が必要な場面に出会うことがあるので、子育てと介護の在り方が正反対に進んでいってしまう現状を変え人の生と死というものを身近なものにできるようなサービス(空き家対策のAI導入など)を増やし、幼い頃から死に触れ生を感じることができることを期待します。また、昔より地産地消が身近になった事はとても素敵だと感じています。
8	少子化の背景をもっと理解するべき。
9	特に1番下の子が3年生になると、要望はなし。
10	産婦人科が少ない、不妊治療が受けられる病院が少なすぎる。
11	保育士として働いていますが、自分の時間を優先したり、下の子が産まれて邪魔にされて園に土曜日毎週預ける方、朝食を食べさせない家、予防接種や皮膚が爛れていても、通院させない家などがあります。そのような方が土曜日かなり多く利用する家庭が増え、園や保育園の教職員は出勤する日が年々増え、自分たちの家族と一緒にいる時間が少なくなってきています。親の子育て教育など親と子が触れ合う時間が持たれるよう第2土曜日は園に預けず、触れあう日など青森市の子育て世代の家庭が月に1、2回家族団らんの時間や、機会を持てるよう配慮していただきたいです。また、保健師や学校教育アドバイザーなど各園に定期的に来園して頂き、保護者が子育てしにくいと思う根っこの部分に気付き、子育てのポイントを保護者が学ぶ機会があったら良いなと思います。無償になることが多くなると、それを悪用する家庭も見られます。土日預かる家庭は勤務表(シフト表)を提出(会社印あるもの)してもらおうなど、園に来て、利用できない家庭が保育園や補助金等を利用したり、もらっていないか、厳しく行政の方がチェックして頂けたらと思っております。
12	子育てとは幼児や児童だけではなくありません。生まれてから大学卒業までが子育てです。高校、大学の子どもがいる親へのサポートも考えていただきたい。
13	決め事ばかり言葉ならべていても良くなっている気がしない。(感じられない)
14	子育ては子どもが小さい時だけではなく、大学生等成長していても続いているものと考えています。小中学校だけではなく、それ以降の保障がないと負担がかさむばかりです。大学生以降の保障が欲しいです。
15	子どもに「子どもの権利」について教える必要はない。親に対して教育すべきこと。「子どもにどんな行政サービスが必要か」について、子どもに意見を聞くのもただのパフォーマンスにしか見えないので、やめた方が良いでしょう。
16	成長し高校に通う際、交通手段が少なすぎるので整備してほしい。
17	アンケートをとっても動いてくれない。と思っております。このアンケートの意味がわかりません。
18	子どもとその家族が大切にされる社会を目指してほしいです。高齢者のための社会になっているような気がします。支えているのは子どもとその家族、働く世代なのに。
19	精神障害者に対しての補助、助成をもっとしっかり手厚くサポートしてほしい。
20	知っていても、利用しにくいのが事実かなと思う。
21	普段は両親に協力してもらっているので、助かっています。子どもも元気に楽しく学校に通っており、不便は感じていません。
22	電話で相談しても若い女の子が電話に出てあまりぱっとしない答えしか返ってこない。あとありきたりな話しか聞けないので、あまり意味がないです。

23	<p>青森を好きで都会へ行かず青森で将来過ごしたいと思えるよう、地元愛を持てるような施設や専門的な学校等、保護者も子育ての上で経済的な負担を考えるなかで、県外へ行かせることなく、共に暮らし、子どもの成長を側で見守り、喜びを共有し合いながら年齢を重ねても子どもが青森で一緒に暮らせる将来を楽しみに思いながら、子育てをしていきたいです。若い力で青森を盛り上げていきたいです。まだ自分自身若いので青森の為に力になりたい思いはありますが、発揮できる機会がないので参加できる事があるのならば参加したい、力になりたい気持ちはあります。自分の今の仕事を若い人に伝える場や、子ども達へ伝える機会があれば良いと思う。一部の人だけではなく、普通の市民も力になれることがあれば他人事ではなく、一人一人が青森の為に希望を持って力を合わせ盛り上げる事ができると思います。青森は食べ物が美味しいし、伝統的な祭りもあるので、子ども達にもっと伝えていきたいです。親がそう思えなければ子どもには伝わらないと思います。子どものためなら親は何でも頑張れます。子育て支援を考えるのなら、子育てをする私達、親が盛り立てられるような、力になれるような、参加できる、それを知ることのできる環境が必要だと思います。例えば、職種が違うが同じ親として一緒に何かを作り上げ、伝えることとか。</p>
24	<p>相談先や窓口はたくさんあるのですが、実際にサービスを利用しようとする断られたり、「もっと支援が必要な人に」と言われたことがあります。もっと気軽に利用できるようになってほしいです。「利用できる」と期待した後に「あなたはダメ」と言われるのはとても辛いです。一保育などは「利用可」などではなく実態に合ったものを教えて欲しいです。</p>
25	<p>もっと支援がほしいです。</p>
26	<p>・LGBTQ問題を子どもたちに押し付けてはいけなく強く思います。「性別自認」に関しては、特に個人の感情論が全面に表れていると思います。小さい子どもたちに「自分が良いと(そう思うんだったら)思うんだったら、好きにしていよ。」という子育ては、大部分の親がしていないことではないかと思えます。ある程度の年齢まで、善悪を教えるのが親の役目ではないでしょうか？男女平等の権利を子どもたちに教えるのは賛成ですが、LGBTQの主張が全て正しいということ子どもたちに教える事に関しては、強く反対しています。社会が崩壊しかねません。</p> <p>・男子トイレ、女子トイレは、はっきり明記してください。</p> <p>・市立図書館前のスペースにLGBTQに関して正しいことであるかのように提示・掲示するのは止めてください。LGBTQに関しては、軽率に欧米社会のマネをしないでください。</p>
27	<p>子供が成人するまで援助が受けられたらいいと思います。</p>
28	<p>特に期待はありません。</p>
29	<p>うちの子供は3人おりますが、中学生の娘に関しては、『成人したら、絶対青森を出たい、最低賃金が高い地域へ就職する。』と話しております。</p>
30	<p>子どもを優しく見守る雰囲気醸成に努めてほしいと思います。</p>
31	<p>以前県内ニュースで青森でも20人に1人はヤングケアラーだと知りとても衝撃的でした。我が子の学年クラスが20人なので、その中に1人はいると考えると悲しくなりました。様々な給付金、商品券など受取ると嬉しいですが、出来ればこれから将来を担う本当に必要としている子供達へと使って頂けたらなと感じております。</p>
32	<p>お金の支援だけではなく、若者の自殺率高いと感じるので、何か支援は必要なのではないかと思えます。</p>
33	<p>子供の数に関係なく平等に支援してほしい。</p>
34	<p>何も期待していない。</p>
35	<p>子どもにかかわる大人が、今よりも心に余裕を持って過ごせる青森市になれば、子どもにとっても過ごしやすい青森市になると思います。青森市は中核市として、県や国に市民の声を発信し、教師、保育者、指導員、支援員が楽しく働くための取り組みをどんどん進める市であってください。</p>
36	<p>ひとり親世帯だけの優遇ではなく、みんなに平等に支援してほしい。</p>
37	<p>子供の数で差が出る政策はおかしいと思う。産みたくても色々な事情で産めない人もいるのに。</p>

38	子育て支援は乳児、幼児に対する支援が多い印象です。子育て応援パスポートに関しても18歳未満の子供対象となっているが、充実したサービスは少ないと感じています。もう少し幅広いサービスを考えてほしいです。
39	青森市は子育て支援センターや小中学校の給食費無料、発達障害児への教育支援等とても充実しており親として大変ありがたく思っております。今後ともこのような行政サービスを継続していただけるようよろしくお願いいたします。
40	ひとり親への支援の強化
41	ひとり親の住宅支援や雪片付けの支援などがあると助かります。
42	若者(学生・社会人)が魅力あるまちづくりに参画しやすくなる取り組み。(働くこととまちづくりを並行できる仕組み。)
43	子育てに力を入れるというの理解は出来ますが、あまりそこを押し過ぎると、子供の少ない世帯、いない世帯、未婚の方などの理解は得られないのかなと思います。そういった方々も納得出来るような対応もした方がいいのかなと思います。
44	子どもの人数にかかわらず皆平等に支援して欲しい。
45	子育てで一番厳しいなと思うことは、親はどんなにつらくても逃げられないということです。なので、もっと親が楽になるようなサービス等があるのであれば、知る機会が増えればよいと思います。また、私自身は子育てにおいて非常に図書館に助けられています。なかなか図書館に入るハードルが高いと思うので、そういうところに行ってみる第1歩目をサポートしてもらえると、皆さんの子育てが少し楽になるのではないかと思います。
46	息子は選挙にとっても関心を持っているが投票の権利がないことに愕然としている。子供の頃から何かしらの形で選挙に関わるような状況を作ることで大人になった時に投票することが当たり前になるのではないかな。
47	今回このような機会を与えていただきありがとうございます。ぜひこれからも続けていただきたく、そして、全世帯の親子の声が、青森市職員の方に届いて欲しいと思います。学校アンケートや教育委員会へのメール相談では、子供への影響を考えると、結局本音は言えません。このような形であれば、子供達も「自分たちは、一青森市民として大きな社会に見守られているんだ」という安心感を持てると思います。余談ですが、私の中学3年の子供は、将来、公認心理師として青森県の為に働ける大人になりたいと日々勉強しています。今後、皆様と共に仕事をする機会をいただいた際には、少しでもより良い環境に変化している事を願い、陰ながら、青森市職員の皆様に応援しております。
48	様々な利用可能な支援施設があるのはとてもいいことですが、地域全体で子供を育てるような支えあう環境があれば、より安心して子育てができるのではと思っています。
49	青森が子育てする環境がもっと充実していたら、青森に戻ってくる人も増えるんじゃないかと思います。それは小さい子に限らず、高校生でも大学生でも同じです。もっと子育て世代の意見が聞いてもらえるといいなと思います。
50	アンケートを実施しても、要望や意見が反映されてる気がしない。
51	子育ては綺麗ごとではありません。子育てにはお金がかかります。お金がなければ働くしかない。働く時間が増えれば親は心身ともに疲弊します。癒やす暇なんてありません。もっと心から子育てを楽しみたい。子育て支援に関し、行政にはもっと積極的かつ具体的なアプローチを期待したいです。
52	本当に必要なものを精査し、必要な方に支援して行って欲しいです。
53	簡単に利用でき、使用しやすい環境にしてほしい。
54	いろいろ手続きする際、窓口の係員によって対応が異なる時がある。統一した知識と、きちんとした対応をしてほしい。
55	誰でも利用できる支援が増える事

56	低所得や一人親世帯とかではなく子育て世帯としていろいろ支援してほしい。この状況の中助けてくれなきゃ子供の未来お先まっくらです。
57	アパートなど、子育て世帯、母子家庭世帯、低所得世帯などでも少しでも安く入居できる制度、支援などあればとても助かります。市営、県営住宅も抽選で全く当選する気配もなく困っています。
58	思春期の子を持つ親に対しての支援があるとありがたいです。
<b>⑬その他</b>	
1	学校の前に少年鑑別所があるのはあまり良くない。鑑別所の移動を考えてほしい。
2	10月に子の発達の悩みを「こどもみらい課子育て支援グループ」にメール相談しても返答なし。ホームページ等で探して意を決して相談したのに、何のアクションもなく、公的なサービスはこんなものかとかっかりした。ホームページに載せるなら、きちんと対応するべき。
3	親族里親の立場で孫を育てておりますので、児童相談所との情報は密にやっております。
4	近年は共働きも多く、土日祝日関係なく仕事がある人もいるので、放課後等デイサービスを保育所のように曜日関係なく、時間も就労に合わせたものにしてほしい。
5	放課後等デイサービスの場所をもう少し作ってほしい。現在、発達支援を必要とする子供が増えるなかで、デイサービスの施設が少ない(不足)からです。
6	放課後等デイサービスについて、事業所が少ないので改善を求めます。
7	子供の泣き声がすると虐待を疑われ、警察に通報されました。その後児童相談所が来て面談しましたが、子育てもしたことのないような年齢の女性2人が来て、悩みがあったら私達が解決するから話してくださいみたいな事言われました。悩みを話して解決するなら子育ての悩みはない。
8	放課後等デイサービスを利用しているが、定員がいっぱいだったり、利用日が制限されるなど、希望通り利用することが難しい。